



# THE SAISON FOUNDATION

April 1997 to March 1998

ANNUAL REPORT 1997







**財団法人 セゾン文化財団**

1997年度 事業報告  
1997年4月—1998年3月

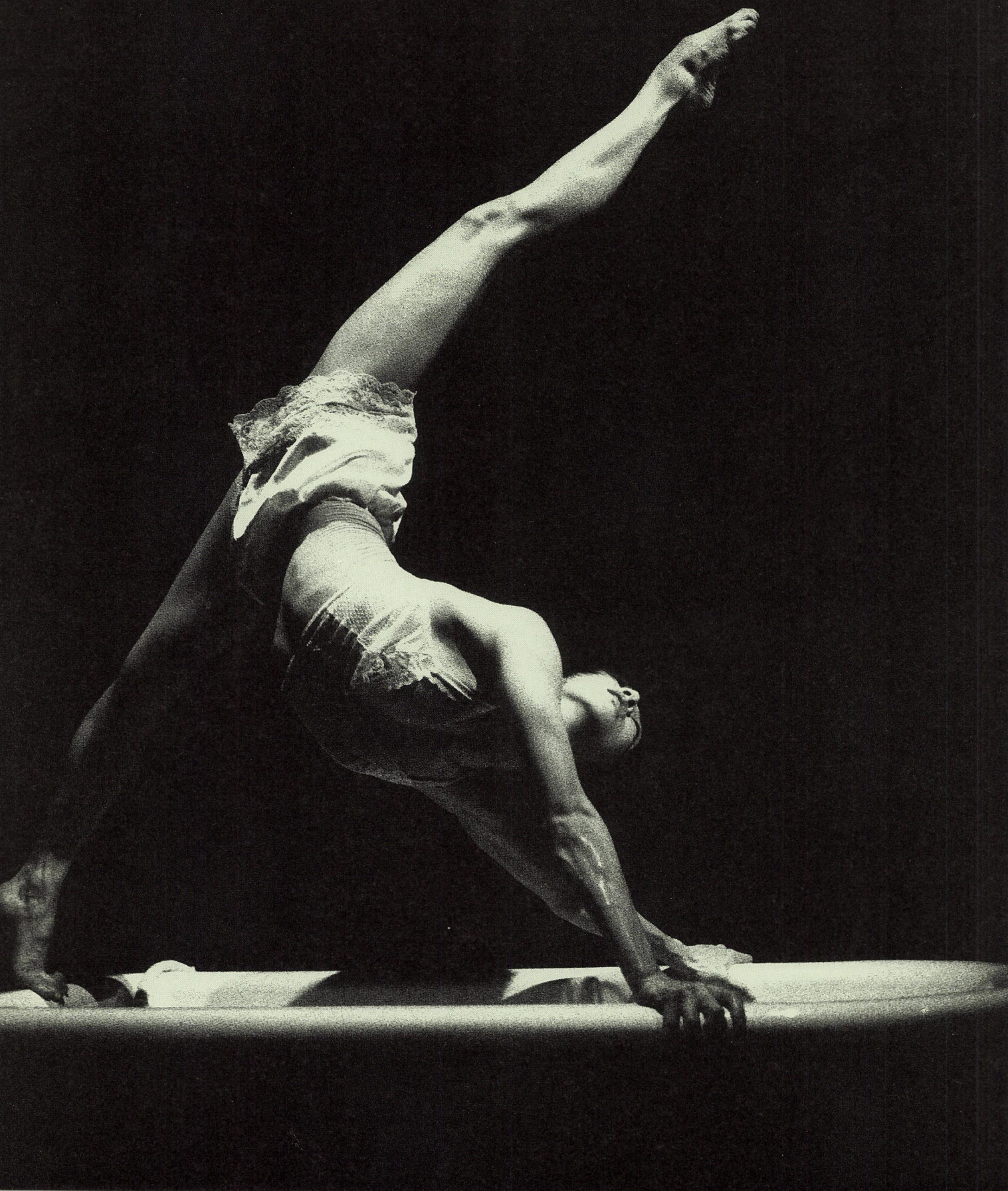
---

**THE SAISON FOUNDATION**

ANNUAL REPORT 1997  
April 1997 to March 1998



H ART CHAOS  
*The Rite of Spring*  
photo by Eri Suzuki





## 目次

ごあいさつ	4
事業概要	6
助成事業	9
現代演劇・舞踊助成	10
特別助成	24
自主製作事業	27
事業日誌	31
会計報告	32
役員・評議員名簿	34

## TABLE OF CONTENTS

PREFACE	5
PROGRAM OUTLINE	7
GRANT PROGRAMS	9
Contemporary Theater and Dance Grants	10
Special Project Support Grants	24
SPONSORSHIP PROGRAMS	27
REVIEW OF ACTIVITIES	31
FINANCIAL REPORT	32
BOARD OF DIRECTORS AND TRUSTEES	35



## ごあいさつ

戦後最大といわれる経済危機のただ中であって、私たちは世界がボーダレス化することの持つ、さまざまな側面を発見しつつあるように思います。日本の深刻な不況がアジア諸国の、ひいては世界の危機に否応なく直結することを実感させられたように、一方で経済領域での世界の一体化は日に日に強まっていると言えましょう。

しかしまた一方で、ボーダレス化が逆に、固有の文化を覚醒させる契機ともなりうる事実を私たちは目の当たりにしています。国民国家の枠組みが変容しつつある中で、地域の独自性と世界性は矛盾しないばかりか、むしろ緊張感を孕んだ創造的な関係であることが認識されはじめようとしています。

その意味では、私たちにとって真の伝統文化とは何であったかを改めて問うことによって、この国のアイデンティティを掘り起こし、再構築してゆく作業が今、必要とされているように思われます。広い視野からの検討を通じて自らの文化を見つめ直し、瑞々しい創造力の回復に繋げていくことこそ、私たちが緊急に取り組むべき課題といえるかも知れません。

私どもセゾン文化財団では、文化芸術の創造に携わる方々、また文化芸術の育成、振興、国際交流を目的とする活動に対し、今後とも積極的に支援を続けて参る所存です。何卒、皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

1998年10月

理事長

堤 清二





## Preface

In the midst of what is called the worst economic crisis in Japan since World War II, we have gradually become aware of the various meanings that lie in the diminution of the world's boundaries. On the one hand, we have experienced how the serious depression in Japan may directly affect neighboring Asian countries and areas and therefore provoke a world crisis, which indicates how the world is becoming one and undivided in the area of economics.

At the same time, however, we have discovered that the diminution of boundaries may also serve as a stimulus to awaken indigenous cultures. As the conventional framework of the idea of a nation changes, the relationship between localization and globalization, which were once considered as an incompatible set of concepts, are now being recognized as having the potentiality to become a creative and exciting bond.

It is necessary for us, therefore, to embark on the process of uncovering and reconstructing an identity of this country by questioning ourselves what has been our real traditional culture at this particular stage in history. It is our mission to re-examine, with a sense of urgency, our culture from a wider perspective and thus recover a fresh and energetic kind of creativity.

The Saison Foundation will continue to devote itself to support those who take part in the creation and promotion of arts and culture, and to those involved in international cultural exchange activities. Your continuous understanding and support are greatly appreciated.

October 1998

**Seiji Tsutsumi**  
Chairman

### 助成事業

#### 現代演劇・舞踊助成

現代演劇、現代舞踊の領域における活動を対象に公募し、助成およびスタジオ提供を行う。

##### A 創造環境整備プログラム

###### A-1 創造環境整備活動

演劇・舞踊界のシステム改善、人材育成、ネットワークの構築など芸術創造を支える環境の整備を目的とした調査・研究、ワークショップ、会議、シンポジウム等の企画に対し、企画経費の一部を助成(50～100万円)および会場としてスタジオを提供する(スタジオ提供のみの場合あり)。

###### 【研究助成】

研究については以下のテーマを重視する。

- I. 我が国の現代演劇・現代舞踊界を活性化させるための政策提言(2年間研究、300万円)
- II. ケーススタディ:舞台芸術の質的向上/革新に対してどのような支援策が過去に有効であったか(1年間研究、100万円)
- III. ケーススタディ:世界をリードする現代演劇・現代舞踊界の才能はどのようにして育まれたか(1年間研究、100万円)

###### A-2 アーツマネジメント留学・研修

国際的視野を持ったアーツマネジャーの養成、日本でのアーツマネジメント教育の普及を目的とした海外への留学・研修に対し、100万円を上限に留学資金の一部を助成する。対象は、芸術経営/運営の専門家として3年以上の職歴があり、海外の大学もしくはそれに準ずる専門教育機関への3ヶ月以上の留学が内定している者。

###### 【コロンビア大学フェローシップ】

米国コロンビア大学ティーチャーズカレッジ(大学院)アーツアドミニストレーションプログラムへ1年間派遣する。対象は、芸術経営/運営の専門家として3年以上の職歴、同大学院の修士課程を履修する能力・語学力があり、帰国後に留学の成果を活かし国内の演劇・舞踊の振興に寄与する意欲と長期的展望を有する者。当財団は大学内に国際奨学生受け入れのための基金を設置、大学から学費、生活費、住居費を含む奨学金が支給されるほか、準備金として100万円を支給。

##### B 芸術創造プログラム

###### B-1 芸術創造活動Ⅰ

演劇界・舞踊界での活躍が期待される若手の芸術家/芸術団体に対し、経常費を含む年間の活動経費の一部を助成および希望者にはスタジオ

を提供する。原則年400万円を3年間継続助成。対象は、申請時点で過去3回以上の公演実績があり、活動歴が15年未満の個人/団体。ただし、個人の場合は将来的に団体の設立を目標としていること、プロデュース団体の場合は中心となる芸術家(演出家、脚本家、振付家)が固定していることを前提とする。

###### B-2 芸術創造活動Ⅱ

国際的な活躍が期待される芸術家/芸術団体に対し、経常費を含む年間の活動経費の一部を助成および希望者にはスタジオを提供する。原則年800万円を3年間継続助成。対象は、「芸術創造活動Ⅰ」の助成期間を終了した者に限定。ただし、1998年度までは「芸術創造活動Ⅰ」の申請者より選考する。

##### C 国際交流プログラム

###### C-1 国際交流公演活動

国内の芸術家/芸術団体の海外公演、海外の芸術家/芸術団体の招聘公演に対し、公演経費の一部を助成(100～300万円)および希望者にはスタジオを提供する。対象は、公演の主体となる芸術家/芸術団体、または公演をプロデュース(マネジメント)する個人/団体。ただし、招聘公演の場合は日本側の受け入れ先が確定していることを条件とする。

###### C-2 国際共同創造活動

国内外の芸術家による共同創造公演やその過程で行われるワークショップ等の企画に対し、企画経費の一部を助成(100～500万円)および希望者にはスタジオを提供する。対象は、企画の主体となる芸術家/芸術団体、または企画をプロデュース(マネジメント)する個人/団体。

#### 特別助成

当財団の理事および評議員から提出された案件の中から採択する非公募プログラム。既存の芸術・文化・学術領域や国家の枠を超えた創造活動、学術交流活動に対し助成する。

### 自主製作事業

自主製作事業として、演劇の招聘公演やシンポジウム、ワークショップ、セミナーなどを主催する。



## Program Outline

### GRANT PROGRAMS

#### Contemporary Theater and Dance Grants

The Saison Foundation awards grants and/or provides the Foundation's rehearsal studio (Morishita Studio) space for the following activities in the field of contemporary theater and dance.

##### A. Creative Environment Improvement Programs

###### A-1. Creative Environment Improvement Program

Grants are made and/or rehearsal studio space are provided to various activities concerning contemporary Japanese theater and dance, such as research, study, publication, human resource development, conferences, symposiums, etc. Range of grants: ¥500,000 – ¥1,000,000.

###### [Commissioned Research Project]

The Foundation encourages the following research projects:

- I. Policy proposals to enhance the contemporary theater and dance environment in Japan (¥3,000,000 for a two-year research project)
- II. Case studies of effective support policies in the history of performing arts (¥1,000,000 for a one-year research project)
- III. Case studies of how the talents of leading artists in the field of contemporary theater and dance were developed (¥1,000,000 for a one-year research project)

###### A-2. Arts Management Study Program

Grants are made to professional arts managers/administrators in Japan who wish to study abroad at universities and/or other academic/professional institutions. Range of grants: ¥1,000,000 maximum.

###### [Scholarship at Teachers College, Columbia University]

A professional arts manager/administrator selected by the Foundation will be sent for a year to the Program in Arts Administration at Teachers College, Columbia University in New York. Scholarship includes tuition fees and living expenses, which will be provided by the University from the Foundation's scholarship fund and an additional ¥1,000,000 for preparatory expenses.

##### B. Artistic Creativity Enhancement Programs

###### B-1. Artistic Creativity Enhancement Program I

Grants are made to promising Japanese theater and dance companies with a history of less than fifteen years. Grants are awarded at a range of ¥4,000,000 per year for three consecutive years, with no usage restrictions. Opportunities to rent Morishita Studio are provided upon request.

###### B-2. Artistic Creativity Enhancement Program II

Grantees are selected among the companies who have completed

the B-1 Program. Grants of ¥8,000,000 per year are awarded for another three years. Studio rental opportunities are also available.

##### C. International Programs

###### C-1. International Performance Program

Grants are made to performances held abroad by Japanese artists and companies, and to domestic performances by visiting foreign artists and companies. Range of grants: ¥1,000,000 – ¥3,000,000. Studio rental opportunities are also available.

###### C-2. International Collaboration Program

Grants are made to international collaborative activities, such as performances and workshops, with Japanese theater and dance artists and companies. Range of grants: ¥1,000,000 – ¥5,000,000. Studio rental opportunities are also available.

#### Special Project Support Grants

The Saison Foundation provides financial support to cultural activities outside the field of contemporary theater and dance. The objective of the grants is to support activities including creative and academic exchange which transcend the conventional frameworks of arts, culture, academic discipline and nationality. Grants are awarded to organizations and/or individuals recommended by the Board of Directors and Trustees.

### SPONSORSHIP PROGRAMS

The Saison Foundation sponsors international performances, symposiums, workshops, and seminars.





GEKIDAN KAITAISHA  
*Zero Category*  
photo by Katsu Miyauchi







# 現代演劇・舞踊助成 Contemporary Theater and Dance Grants

助成対象38件/ 助成総額99,000,000円  
38 Grantees/ Total appropriations: ¥ 99,000,000

## 基本的な考え方——「最初の10年」を終えて

本年度、当財団は設立10周年を迎えた。振り返るとこの間、殆ど毎年のように新しい助成プログラムの開発、既存のプログラムの修正、プログラム体系の変更が重ねられてきている。詳しい経緯については巻末に年表の形でまとめているのでご参照頂ければと思うが、申請される方々にとっては、募集要項が毎年変わる落ち着いた10年間であったかもしれない。

助成財団にとって最初の10年間は、自らの存在意義を深いレベルで問い、明確なアイデンティティを確立していく重要な時期だといえる。当財団においては、まず当面の主な対象領域を舞台芸術分野と設定したうえで、とくに現代性をもった表現、若い世代の才能、作品や活動の国際性を重視することなどが確認された。また、1990年前後の企業メセナブームや、公共ホールの建設ラッシュなどを受け、当財団はむしろ（Ⅰ）創造する側のニーズに基づき、作品発表より創造プロセスに比重を置いた支援を行うこと（Ⅱ）演劇・舞踊界の構造的問題に着目し、創造活動を取り巻く環境の改善を企図した支援を行うことを基本方針とした。さらに、助成財団の特長を活かして、1回限りの助成から複数年にわたるコミットメントへ主軸をシフトし、支援内容も資金提供のみに留まらず、場所や情報の提供を加えた複合的なものとしていくこととした。当財団の助成プログラムは、このような考え方の進展にしたがって、これを織り込みながら絶えず変化してきたのである。

もともと助成プログラムとは、助成の対象や方法を具体的に記述したものであるが、当財団ではとくに二つの側面からこれを位置づけている。第一にプログラムは、目的を達していくために当財団が選択したアプローチを示すものである。すなわち「現代演劇・舞踊の分野において、革新的で質の高い表現が生み出されていくためには、限られた資源をどのよ

うな指針に沿って配分すればより効果的であるか」という設問に対する解である。ただ、解とはいっても唯一絶対のものがあるわけではない。頂上は一つでも幾つもの登山ルートがあり、天候や装備など条件によって取るべき道が違ふのと、これは同じことである。登山者によって向き不向きもあるだろうし、状況によっては「急がば回れ」という判断も取り得るだろう。当財団では現在、芸術団体や交流事業に直接助成するアプローチ（たとえば「B 芸術創造」）と、どちらかといえば全体的な基盤作りに助成する間接的なアプローチ（たとえば「A 創造環境整備」）とに大きくプログラムを振り分けているが、どのようなアプローチが本当に有効であるのかは、十分な時を経てからでないと判定できない。その意味で助成プログラムとは、将来きちんとした評価が行われるまで仮説であり続けるのである。

第二に、プログラムには、社会に向けての提案としての意味がある。登山の例でいえば、同じ頂上を目指して登っているのは当財団だけではなく、政府や地方自治体、メセナ活動を行う企業などがある。そのときに、リスクを負って新しいルートを開拓するのは民間財団であるわれわれに課せられた役割のひとつであろう。もしそのルートが有効なものとして認知されるなら、将来多くの登山者によって利用されることとなるに違いない。これは、資源が必ずしも潤沢とはいえない民間財団にとって、活動のインパクトを高め、助成の効果を増幅させる方途でもある。当財団が行ってきた新しい支援策——複数年にわたる運営助成、「森下スタジオ」における稽古場の提供、アーツマネジメント留学研修など——に込められたメッセージは、現在徐々にではあるが、各方面で受け取られつつあるようにも感じられる。

当財団のプログラムは、おそらく次の10年もまた変化を繰り返していくであろう。しかし、逆説的なようであるが、これは首尾一貫した活動を希求するがゆえである。今後も厳しい眼で見守って頂ければ幸いである。

## 1997年度現代演劇・舞踊助成の概況 (Ⅰ) Contemporary Theater and Dance Grants, 1997 (I)

プログラム programs	A 創造環境整備プログラム CREATIVE ENVIRONMENT IMPROVEMENT PROGRAMS		B 芸術創造プログラム ARTISTIC CREATIVITY ENHANCEMENT PROGRAMS		C 国際交流プログラム INTERNATIONAL PROGRAMS		合計 total
	A-1 創造環境整備活動 Creative Environment Improvement Program	A-2 アーツマネジメント留学・研修 Arts Management Study Program	B-1 芸術創造活動Ⅰ Artistic Creativity Enhancement Program I	B-2 芸術創造活動Ⅱ Artistic Creativity Enhancement Program II	C-1 国際交流公演活動 International Performance Program	C-2 国際共同創造活動 International Collaboration Program	
申請件数 number of applications	38	9	69	4	50	36	206
助成件数 number of grants made	12	2	4	4	11	5	38
助成金額(¥) grants in yen	11,500,000	7,500,000	16,000,000	32,000,000	22,000,000	10,000,000	99,000,000



## Principles on the Saison Foundation's Grant-making Activities: After the First Decade

The Saison Foundation celebrated its tenth anniversary in 1997. During this past decade, grant programs were newly established and/or constantly modified almost each year, which is recorded in detail in the chronological table at the end of this annual report. (In other words, it was perhaps a decade during which our applicants were kept restless due to such frequent changes.)

The first decade was extremely important for the Saison Foundation as it was a period during which the Foundation searched for its *raison d'être* and endeavored to establish its identity as an organization. Within the first few years, the Foundation recognized the performing arts as its major area of support for the time being, especially the works belonging to contemporary expression, the young talented artists, and the international aspects of the works and activities related to this particular field. Around in 1990, when corporate support to the arts expanded widely and the number of newly built public halls increased dramatically in Japan, the Saison Foundation decided that its principles for grant-making would be: (1) to support the creative process rather than stage performances, in order to meet the demands of the artists; and (2) to support the improvement of the environment surrounding artistic activities in order to cope with the structural problems within the theater and dance communities. Furthermore, the Saison Foundation put to use its advantage as a private grant-making foundation by shifting its emphasis of support from project-only grants (i.e., support to stage performances), to long-term grants. In addition to awarding grants, the support structure of the Foundation also became more systemized by providing rehearsal space and information as well to its grantees. Modifications in the grant programs during the first decade were made to carry out such support policies.

Generally speaking, precise descriptions on the area of where grants will be made and the methods of assistance are clearly stated in a foundation's grant programs. In the case of the Saison Foundation, the following two perspectives have been essential in determining these factors.

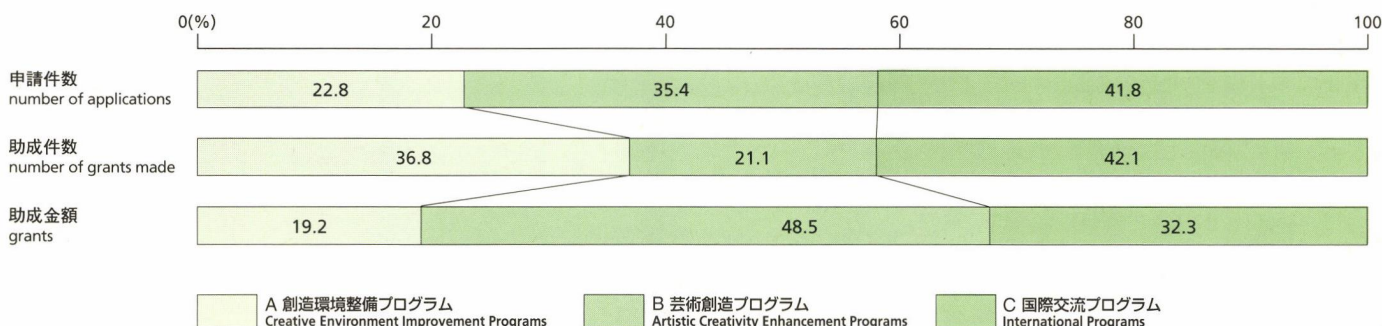
First of all, grant programs represent the means selected by the Foundation in order to achieve its goal. In other words, grant programs are answers to the question on *how limited resources should*

*be appropriated to produce innovative and high quality artistic expression in the fields of contemporary theater and dance.* However, there is no single absolute answer to this question. Consider mountain climbing as an example. Although there is one single summit, there are several trails that lead to it, and circumstances such as weather, equipment and the climbers' physical condition will determine the best route. A detour route may at times have to be selected to reach the summit successfully. At present, the Saison Foundation has two tentative answers to the previous question. One is an approach that directly supports art organizations, i.e., theater and dance companies, and/or exchange activities, such as the Foundation's Artistic Creativity Enhancement Programs. Another is an approach that indirectly supports the community as a whole as in the Creative Environment Improvement Programs. Frankly speaking, it is too early to determine which one of these two is more effective. In this sense, grant programs remain as forms of hypotheses until they are properly evaluated.

Secondly, the Foundation considers grant programs as proposals that are made to the society on new means to achieve a certain goal. As in the example of mountain climbing, the Saison Foundation is not the sole climber; central and local governments, and private corporations actively supporting the arts, are also trying to reach the summit. As a private foundation, we acknowledge that it is one of our social roles to take risks and explore new routes to the summit. If a newly discovered route is recognized as a successful one, many climbers will take it in the future. In this manner, private foundations with a limited budget may increase the impact of its activities and also its effects of grant-making and support at the same time. The messages implied within the newly explored means of the Saison Foundation – such as its multiple-year support to theater and dance companies, providing opportunities to use its Morishita Studio in Tokyo for rehearsals, and its overseas scholarship program in arts management – have gradually been accepted by others in related fields.

The grant programs of the Saison Foundation are likely to change again during the next decade. Paradoxical as it may sound, these changes will be made to pursue the most important goal of the Foundation consistently as possible: to find the best route to reach the summit.

### 1997年度現代演劇・舞踊助成の概況 (II) Contemporary Theater and Dance Grants, 1997 (II)







## 創造環境整備プログラム Creative Environment Improvement Programs

当プログラムでは本年度も当財団の数年来のテーマである「現代演劇・舞踊界のインフラストラクチャー作り」に貢献しうる事業であることを要件とし、97年度採択事業として13件、昨年から継続分1件とあわせて14団体/個人に対し支援を行った。

A-1創造環境整備活動の対象となる活動形態は、ワークショップ、シンポジウム、調査・研究、出版など多岐にわたるが、今年度は研究助成以外の助成対象8件の内、7件がワークショップ関連の事業となった。またその内4件は昨年度からの継続である。申請件数、助成対象事業とも、特にダンスのジャンルにおける人材育成を目的とした継続的なワークショップや研修事業が多く、その内容の充実度とともに教育機会に対する需要の高さが浮き彫りとなった。基本的に主催者が会場を確保できていないケースについては森下スタジオを提供し、自らの拠点で行うものについては資金提供を行うこととしているが、本年度は4件のスタジオ利用があり、ワークショップ会場として森下スタジオが活況を呈した感がある。

本年度新たに助成が決定した安部公房スタジオ・プロジェクト'97は、米国コロンビア大学ドナルド・キーンセンター他で開催された“The Kobo Abe Commemoration”（当財団95、96年度特別助成対象事業）に端を発する企画で、安部氏の演劇人としての側面に焦点を絞った没後初の企画である。3週間の期間中にワークショップ、シンポジウム、フィルム上映、公演、レクチャーなど様々な催しが実施され、若い世代の参加者も多く盛況を博した。

今年で2年目を迎えた指定テーマに基づく研究助成は、水準の高い応募が多く、公的支援に論点を絞った笹井宏益氏（国立教育研究所生涯学習研究部所属）、ドイツ語圏の事例を中心に据えた菅原美佐氏（東京都立大学大学院博士課程）、「舞踊地図のボーダレス化」をキーワードとした伊藤恭子氏（舞踊評論家）の3氏が独自の切り口と研究実績を評価され採択された。研究助成の成果に関しては当財団のニュースレター『viewpoint』にて、各氏の要約を順を追って掲載して行く予定である。

A-2アーツマネジメント留学・研修では、法律家による芸術支援の総合研究を目的としている

福井健策氏（弁護士）の米コロンビア大学法学大学院への留学に対して、留学経費の一部に対し支援を行った。コロンビア大学奨学生（98年度留学）については、幅広い制作経験を持つ奥山緑氏（山海塾制作）の派遣が決定した。

\* \* \*

The Creative Environment Improvement Programs are intended to assist projects contributing to the construction and promotion of infrastructures for contemporary theater and dance communities, which has been one of the Saison Foundation's target goals for the past few years. In 1997, thirteen artists/organizations were awarded grants from this program.

The A-1 Creative Environment Improvement Program is designed to support various activities such as workshops, symposiums, survey and research projects, and publications. Among the thirteen grantees, seven out of eight non-research projects, including four grantees who received continuous grants for two or three years in a row, were workshop-related. The number of workshops and training sessions, especially with the purpose of developing human resources in the dance community on a consecutive basis, were outstanding even at the application stage. This fact indicates the strong demand for opportunities to receive education in the field. While those who have their own working space or were able to book studios in order to hold workshops were given financial support, the Morishita Studio, owned by the Saison Foundation, was used mainly by grantees who were not able to secure venues for such projects, including four who were involved in organizing workshops.

One of the newly selected grantees was the KOBO ABE STUDIO PROJECT '97 that initially started as “The Kobo Abe Commemoration” (grantee of the Special Project Support Grants for 1995 and 1996), which was held at the Donald Keene Center for Japanese Culture at Columbia University in New York. The 1997 project was the first event to focus on Kobo Abe as a theatrical person after his demise. Workshops, symposiums, film sessions, theatrical performances, and lectures were held during the three weeks of the project and attracted a large audience including those who were too young to see Abe's works during the artist's lifetime.

The applications for the commissioned research project grants, which started last year, were all notable, and among them, three were chosen as grantees: HIROMI SASAI, Chief of the Research Department of Lifelong Learning, National Institute for Educational Research of Japan, whose project was focused on researching public support programs in Europe and Japan; MISA SUGAWARA, who is currently attending a doctoral course at the Tokyo Metropolitan University, proposed to study the art support programs in German-speaking nations; and KYOKO ITO, a noted dance critic who undertook a research project on the phenomenon of boundaries disappearing from the dance communities of the world. The three grantees were selected for the originality of their research plans and their past achievements in research activities. Results of the research projects have been and will be made public through the Foundation's newsletter titled *viewpoint* in a summarized form.

In the A-2 Arts Management Study Program, KENSAKU FUKUI, an attorney-at-law, was awarded partial financial assistance to attend the Columbia University School of Law in order to pursue studies on support provided by lawyers to the arts in the U.S. Midori Okuyama, an experienced arts administrator and presently the company manager of the Sankai Juku dance troupe, will study as a scholar at the Program in Arts Administration at Teachers College, Columbia University, under the Foundation's scholarship program in fiscal year 1998.



## A-1

### 創造環境整備活動

助成対象12件/ 助成額11,500,000円

### Creative Environment Improvement Program

12 Grantees/ Total appropriations: ¥ 11,500,000

### ■ワークショップ・教育活動

#### Workshop and educational activities

#### 国際舞踊夏期大学

#### 国際舞踊夏期大学

97年8月3日～15日

東京(森下スタジオ)

1,000,000円 スタジオ提供34日間

#### INTERNATIONAL SUMMER SCHOOL OF DANCE

International Summer School of Dance

August 3-15, 1997

Tokyo (Morishita Studio)

¥1,000,000 Studio rental: 34 days

#### 舞踊資源研究所

公開ワークショップ「身体夏の学校」施設自力建設・参加者受入援助

97年7月1日～98年3月31日

山梨(白州町)

1,000,000円

#### DANCE RESOURCES ON EARTH

Summer Workshop "Body Weather School"  
Facility Construction, Support for Participants

July 1, 1997-March 31, 1998

Yamanashi (Hakusyu)

¥1,000,000

#### 安部公房スタジオ・プロジェクト'97

安部公房「演劇の仕事」ワークショップ/シンポジウム/レクチャーの開催

97年9月7日～27日

東京(森下スタジオ、草月会館会議室)

2,000,000円 スタジオ提供10日間

#### ABE KOBO STUDIO PROJECT '97

Abe Kobo/The Work of Theater: Workshop, Symposium, Lecture and Film

September 7-27, 1997

Tokyo (Morishita Studio, Sogetsu Kaikan)

¥2,000,000 Studio Rental: 10 days

#### 演劇研究室「座」

演劇研究室「座」による俳優養成講座

97年6月1日～98年5月31日

東京(演劇研究室「座」稽古場、区民センター他公共施設)

1,000,000円

#### ZA • LABORATORY OF PLAY

Work Shop by Za•Laboratory of Play

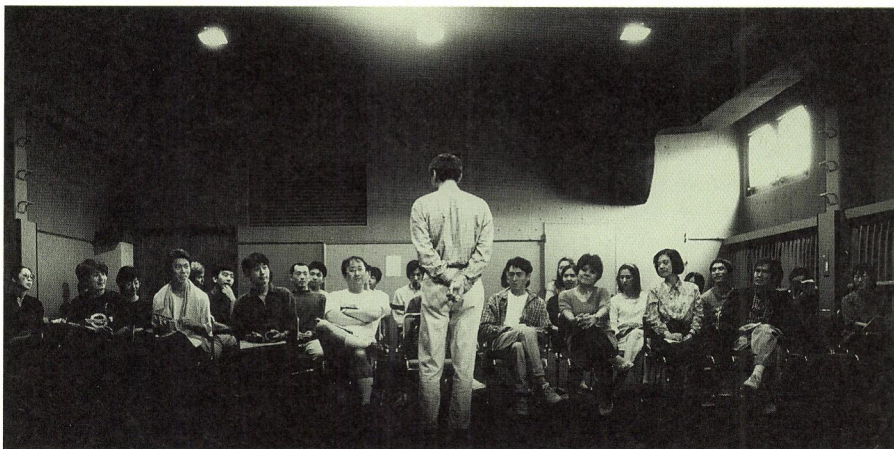
June 1, 1997-May 31, 1998

Tokyo (Za Studio, several public venues)

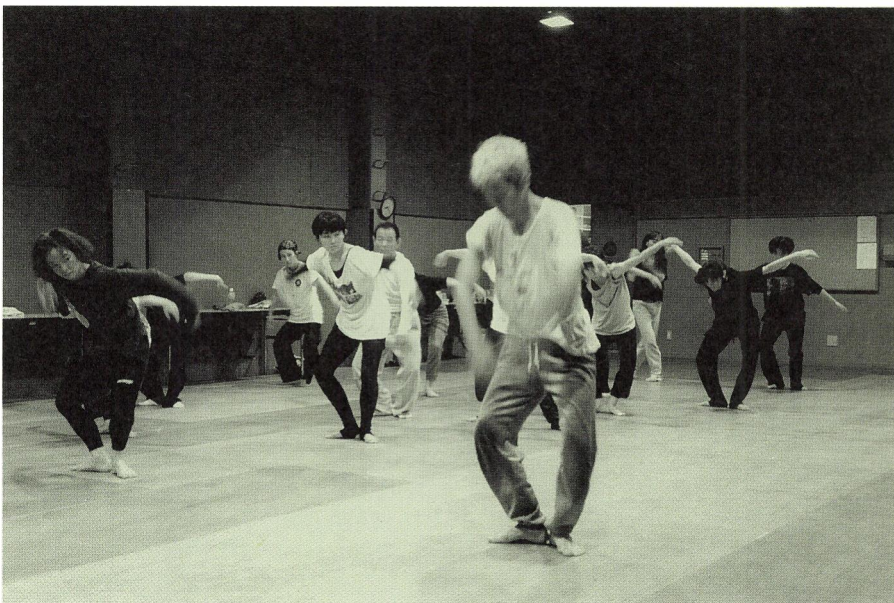
¥1,000,000

#### 東京ダンス機構

PASダンスの学校98



ABE KOBO STUDIO PROJECT '97



DANCE RESEARCH TOKYO "Performing Arts System"

98年5月1日～31日

東京(森下スタジオ)

スタジオ提供31日間

#### DANCE RESEARCH TOKYO

Performing Arts System

May 1-31, 1998

Tokyo (Morishita Studio)

Studio Rental: 31 days

#### ダンス普及連絡会

ダンス普及連絡会Presents「Various Dance Workshop Session」

98年5月1日～9日

東京(森下スタジオ)

スタジオ提供9日間

#### DANCE COMMUNITY COALITION

Dance Community Coalition Presents  
"Various Dance Workshop Session"

May 1-9, 1998

Tokyo (Morishita Studio)

Studio Rental: 9 days

#### 勅使川原三郎+KARAS

#### KARAS WORKSHOP

97年9月1日～98年8月31日

東京(KARASスタジオ)

1,000,000円

#### SABURO TESHIGAWARA + KARAS

#### Karas Workshop

September 1, 1997-August 31, 1998

Tokyo (Karas Studio)

¥1,000,000



■保存活動  
Preservation projects

現代演劇ポスター収集・保存・公開プロジェクト  
「現代演劇ポスター収集・保存・公開プロジェクト」  
の1997年度活動

97年6月1日～98年5月31日

京都、神戸、東京、水戸（元明倫小学校、神戸アートビレッジセンター、世田谷パブリックシアター、水戸芸術館現代美術ギャラリー）

1,000,000円

THE MODERN THEATRICAL POSTERS  
COLLECTION PROJECT  
The Modern Theatrical Posters Collection  
Project 1997

June 1, 1997-May 31, 1998

Kyoto, Kobe, Tokyo, Mito (Former Meirin Elementary School, Kobe Art Village Center, Setagaya Public Theatre, Mito Contemporary Art Gallery)

¥1,000,000

■研究助成  
Commissioned research projects

テーマⅠ：

わが国の現代演劇・現代舞踊界を活性化させる  
ための政策提言

Policy proposals to enhance the contemporary theater and dance environment in Japan

衛紀生

96年6月1日～98年5月31日

東京、仙台、金沢ほか

3,000,000円（97年度助成額：1,500,000円）

NORIO EI

June 1, 1996-May 31, 1998

Tokyo, Seidai, Kanazawa, etc.

¥3,000,000（¥1,500,000 in 1997）

テーマⅡ：

舞台芸術の質的向上/革新に対してどのような支  
援策が過去に有効であったか

Case studies of effective support policies in  
the history of performing arts

笹井宏益

97年7月1日～98年2月28日

パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、ウィーン、水戸、  
東京

1,000,000円

HIROMI SASAI

July 1, 1997-February 28, 1998

Paris, Frankfurt, Helsinki, Vienna, Mito, Tokyo

¥1,000,000

菅原美佐

97年6月1日～

ウィーン、ザルツブルク、ベルリン、ハンブルク、マ  
ンハイム、ヴァイマル

1,000,000円

MISA SUGAWARA

June 1, 1997-April 30, 1999

Vienna, Salzburg, Berlin, Hamburg, Mannheim,  
Weimar

¥1,000,000

テーマⅢ：

世界をリードする現代演劇・現代舞踊の才能は  
どのようにして育まれたか

Case studies of how the talents of leading  
artists in the field of contemporary theater  
and dance were developed

伊藤恭子

97年6月10日～

パリ、オルレアン、エクス・アン・プロヴァンス、エッ  
セン、フランクフルト、ハンブルク、フライブルク、  
ミュンヘン、ヴッパータール、シュトゥットガルト

1,000,000円

KYOKO ITO

June 10, 1997-December 31, 1998

Paris, Orleans, Aix-en-Provence, Essen,  
Frankfurt, Hamburg, Freiburg, Munich,  
Wuppertal, Stuttgart

¥1,000,000

A-2

アーツマネジメント留学・研修

助成対象2件/助成額7,500,000円

Arts Management Study Program

2 Grantees/ Total appropriations: ¥ 7,500,000

福井健策

米コロンビア大学法学大学院への留学（法律家  
による芸術支援の総合研究）

97年8月1日～98年5月31日

ニューヨーク（コロンビア大学大学院）

1,000,000円

KENSAKU FUKUI

Study of Legal Aids for Artists and Art Laws  
at Columbia University School of Law

August 1, 1997- May 31, 1998

New York (Columbia University School of Law)

¥1,000,000

■コロンビア大学フェローシップ

Scholarship at Teachers College, Columbia  
University

吉本光宏

1997年度留学

97年9月1日～98年7月31日

ニューヨーク（コロンビア大学ティーチャーズカ  
レッジ）

6,500,000円

MITSUHIRO YOSHIMOTO

For the year 1997

September 1, 1997-July 31, 1998

New York (Program in Arts Administration,  
Teachers College, Columbia University)

¥6,500,000

B

芸術創造プログラム

Artistic Creativity Enhancement Programs

芸術団体に複数年度の運営助成を行う当プロ  
グラムでは、昨年度より団体のキャリア別にB-1  
芸術創造活動ⅠとB-2芸術創造活動Ⅱの2段階  
に分け助成金の交付および森下スタジオの提供  
による支援を行っているが、本年度は新たにB-1  
の助成対象となったダンス・カンパニー、H・アール  
・カオスを含め、B-1とB-2それぞれ4件ずつの  
計8件に対して助成を行った。

H・アール・カオスは振付の大島早紀子氏とダン  
サーの白河直子氏により1989年に設立された女  
性ダンサー中心のダンス・カンパニーで、当財団と  
しても、94、95年度の2度にわたり国内公演に対  
する助成を行って来た。近年特にその緻密な振  
付と巧みな構力、またダンサーのテクニックを評  
価する声が高く、作品の質、活動の幅ともにレベ  
ルアップしてきている時期であることから、将来性  
や助成の適時性が考慮され助成が決定した。  
助成初年度の今年は初の大規模な海外ツアー  
（北米8都市20公演）を実施し、大きな反響を得た  
様子である。

助成継続の団体に関しても、演劇企画集団  
THE・GAZIRAの鐘下辰男氏が第32回紀伊國  
屋演劇賞の個人賞、第5回読売演劇大賞の大  
賞と最優秀演出家賞を受賞、青年団が青年団  
プロデュース+月の岬プロジェクトとして、作品「月  
の岬」で読売演劇大賞の作品賞を受賞するなど  
の評価を得て注目されたのをはじめ、燐光群の  
「漱石とヘルン」の全国12都市公演、山崎広太・  
rosy CO.,、伊藤キム十輝く未来、劇団解体社  
の数度にわたる海外公演、遊園地再生事業団  
の別役実作品の上演など、各団体とも積極的な  
展開が目立った。

92年度よりスタートした当プログラムも今年度で  
6年目を迎え、助成対象となった団体は計12団  
体、助成金も累計で2億6千800万円に達した。  
その助成が芸術団体や芸術支援状況に与えるイ  
ンパクトがどのようなものであったか、助成する側  
としてはプログラムの評価という形で成果をはかっ  
ていく必要がある。そこで昨年度から始めた助  
成期間中の評価プログラム（ワークシートの作成/  
外部評価者へのレポート依頼/財団スタッフによ  
る公演レポート）を継続するとともに、今年度は助  
成終了後の評価という視点で幾つかの方策を試  
みた。ひとつは助成金の使途に対する情報交換



会、もうひとつは助成終了後3年を経た団体に対するヒアリング調査である。

後者に関しては、92～94年度に助成を行った新宿梁山泊とパパ・タラフマラの2団体の調査を外部のインタビュアーに依頼した。財団のプログラム・スタッフが赴くのではなく、外部に依頼した理由は、芸術団体が資金提供者にはダイレクトに言いづらい部分をすくい上げてもらう目的と、財団と芸術団体の間に立ち、中立的な立場で助成プログラムのありかた自体を評価してもらいたいという2つの目的があったためである。芸術助成の評価というのは因果関係が把握しづらく、明快に分析できるものではない。また、手法的にも十分発達しているとは言えない。今回も手探り状態での試みであったが、長期的に見た助成の影響を検討する必要性は大きく、財団のミッションの達成度をはかる意味も含め、改善を重ね今後も継続して行く予定である。

\* \* \*

The Artistic Creativity Enhancement Programs (B-1 and B-2) give multiple-year support to contemporary Japanese theater or dance companies which are to be used to cover administrative expenses. Grantees are classified into either one of these two programs depending on each organization's career. Grantees of the B-1 program, after receiving grants for three years, will then be eligible to apply for the B-2 program. The two-step support system, which started in 1996, provides to its grantees both financial support and priority to use Morishita Studio. This year, grants were awarded to eight organizations (four organizations in each of the two programs), including H ART CHAOS, a dance company newly selected for the B-1 program.

H ART CHAOS is a dance company whose most of its dancers are female, and was established in 1989 by Sakiko Oshima, a choreographer, and Naoko Shirakawa, a dancer. The Saison Foundation supported the company's stage performances in Japan in the fiscal years of 1994 and 1995. The company has won reputation in the recent years for its elaborate choreography, skillful stage composition, and its high-level of dancing proficiency, and was considered to be entering a phase which would be crucial in im-

proving their quality of performances and expanding their sphere of activities. These factors were taken into consideration to justify the timeliness of providing support to the dance company along with the Foundation's faith in the company's future possibilities. During the first year as a grantee, a large scale tour comprising of twenty performances in eight North American cities was launched for the first time in the company's history and impressed many audiences.

The activities of other organizations who received continuous support were also vigorous. TATSUO KANESHITA of THEATER PROJECT TEAM THE GAZIRA won the 32nd Kinokuniya Drama Award for Individual Artists, and Grand Prix and Best Director Award in the fifth Yomiuri Theater Awards; SEINENDAN won the Yomiuri Theater Awards' Best Theatrical Production Award in its production of THE CAPE OF THE MOON PROJECT. Another theater company, RIN KO GUN, toured twelve cities in Japan with its piece titled *Soseki and Hearn*; KOTA YAMAZAKI ROSY CO., KIM ITOH + GLORIOUS FUTURE, and GEKIDAN KAITAISHA each went on overseas tours; and YUENCHISAISEI-JIGYODAN staged a piece by the famed playwright of the Japanese absurd theater, Minoru Betsuyaku.

Six years have passed since the grant program for administrative support started in fiscal year 1992, and grants of an accumulative total of 268 million yen were awarded to twelve organizations. To verify the impact of the grants on the art organizations and on art support programs in general, it is necessary for the grant-making foundation to carry out a systematic evaluation of its programs. In order to do so, the Saison Foundation started an evaluation program on its current grants for the Artistic Creativity Enhancement Program last year. Within this evaluation program, grantees are requested to prepare a work plan on their activities during their grant-receiving period, while external evaluators are hired to conduct a research and prepare an assessment report on each grantee, and the staff of the Saison Foundation are required to give reviews on the performances held by the grantees. This year, two new methods were introduced to this evaluation program: present grantees of the Artistic Creativity En-

hancement Program were invited to a meeting to exchange information on how grant monies from the Saison Foundation were being spent at their organizations; and interviews were conducted with ex-grantees who finished receiving grants from this particular grant program three years ago.

Regarding the latter new method of evaluating the grant program, separate interviews were held with Shinjuku Ryozanpaku and Pappa Tarahumara, both who received grants for administrative expenses between 1992 and 1994, by external evaluators. Such interviewers were employed in order to gather information that grantees may have been reluctant to reveal to the grant-maker, and also to have the grant program evaluated from a neutral point of view. The process of evaluating art support activities is always accompanied with complexities since it is extremely difficult to establish the relationship between cause and effect in the field of arts, and, therefore, appropriate evaluation methods still need to be studied. Nevertheless, the Foundation will continue to explore and improve this process, for it is important to examine the effectiveness of its grant-making activities from a long-term viewpoint, and to measure the level of achievement of its goals.





H ART CHAOS  
... of Sleeping Forest  
photo by Arata Yoshimura



GEKIDAN KAITAISHA  
Zero Category  
photo by Katsu Miyauchi

#### B-1

##### 芸術創造活動 I

助成対象4件/ 助成額16,000,000円

##### Artistic Creativity Enhancement Program I

4 Grantees/ Total appropriations: ¥ 16,000,000

#### 1997年度より From 1997

H・アール・カオス

97年4月1日～98年3月31日

4,000,000円

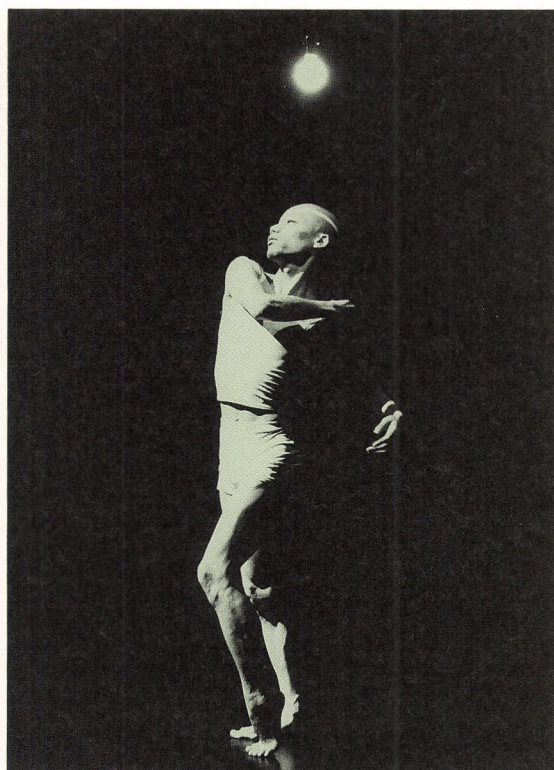
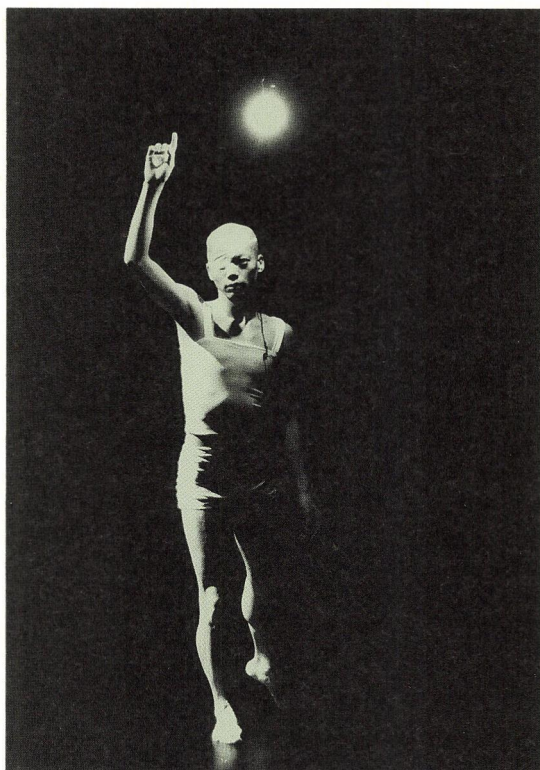
H ART CHAOS

April 1, 1997-March 31, 1998

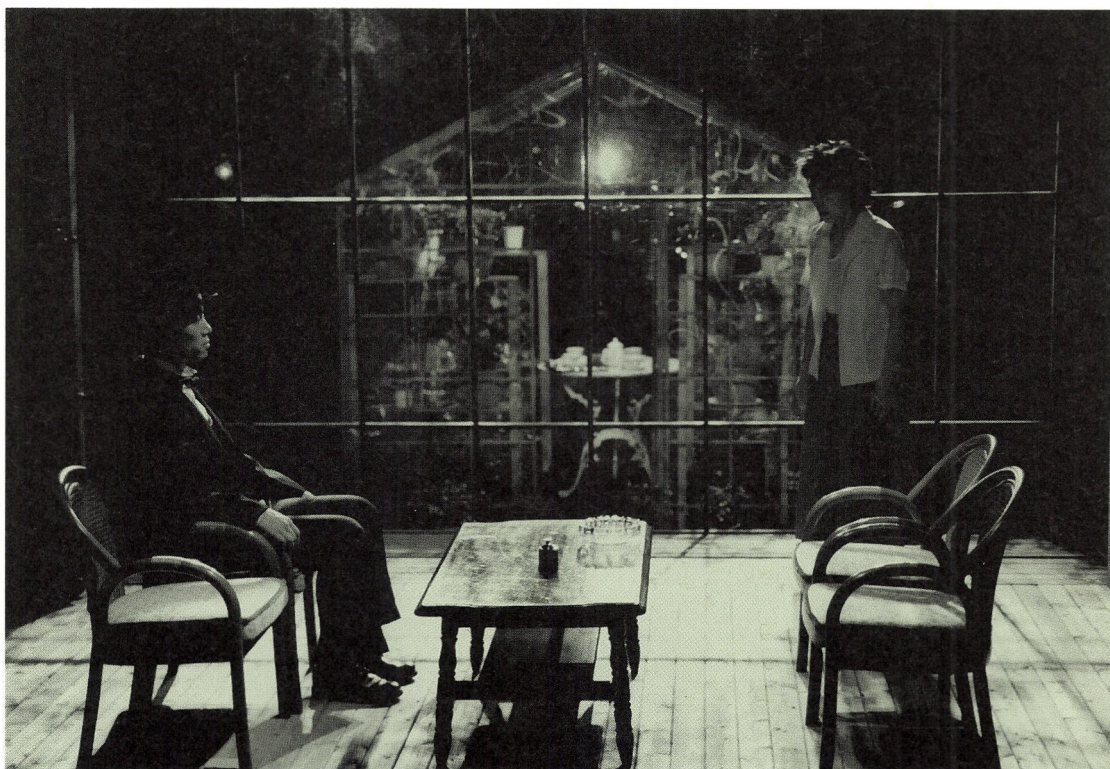
¥4,000,000



KIM ITOH  
+ GLORIOUS FUTURE  
3 Sex  
photo by Osamu Awane



THEATER PROJECT TEAM  
THE GAZIRA  
*The Front of the Green House*  
photo by Hiromi Hata



1996年度より  
From 1996

劇団解体社  
97年4月1日～98年3月31日  
4,000,000円 スタジオ提供6日間  
GEKIDAN KAITAISHA  
April 1, 1997-March 31, 1998  
¥4,000,000 Studio rental: 6 days

伊藤キム+輝く未来  
97年1月1日～12月31日  
4,000,000円 スタジオ提供94日間  
KIM ITOH + GLORIOUS FUTURE  
January 1-December 31, 1997  
¥4,000,000 Studio rental: 94 days

演劇企画集団THE・GAZIRA  
97年1月1日～12月31日  
4,000,000円 スタジオ提供103日間  
THEATRE PROJECT TEAM THE GAZIRA  
January 1-December 31, 1997  
¥4,000,000 Studio rental: 103 days





KOTA YAMAZAKI  
ROSY CO.,  
*Picnic*  
photo by Takahisa Ide



YUENCHISAISEI-  
JIGYODAN  
*Have a Gathering in that  
Novel*

## B-2

### 芸術創造活動Ⅱ

助成対象4件/ 助成額32,000,000円

### Artistic Creativity Enhancement Program II

4 Grantees/ Total appropriations: ¥ 32,000,000

### 1996年度より From 1996

山崎広太・rosy CO.,

97年1月1日～12月31日

6,000,000円 スタジオ提供126日間

KOTA YAMAZAKI ROSY CO.,

January 1-December 31, 1997

¥6,000,000 Studio rental: 126 days

遊園地再生事業団

97年2月2日～98年2月1日

8,000,000円 スタジオ提供41日間

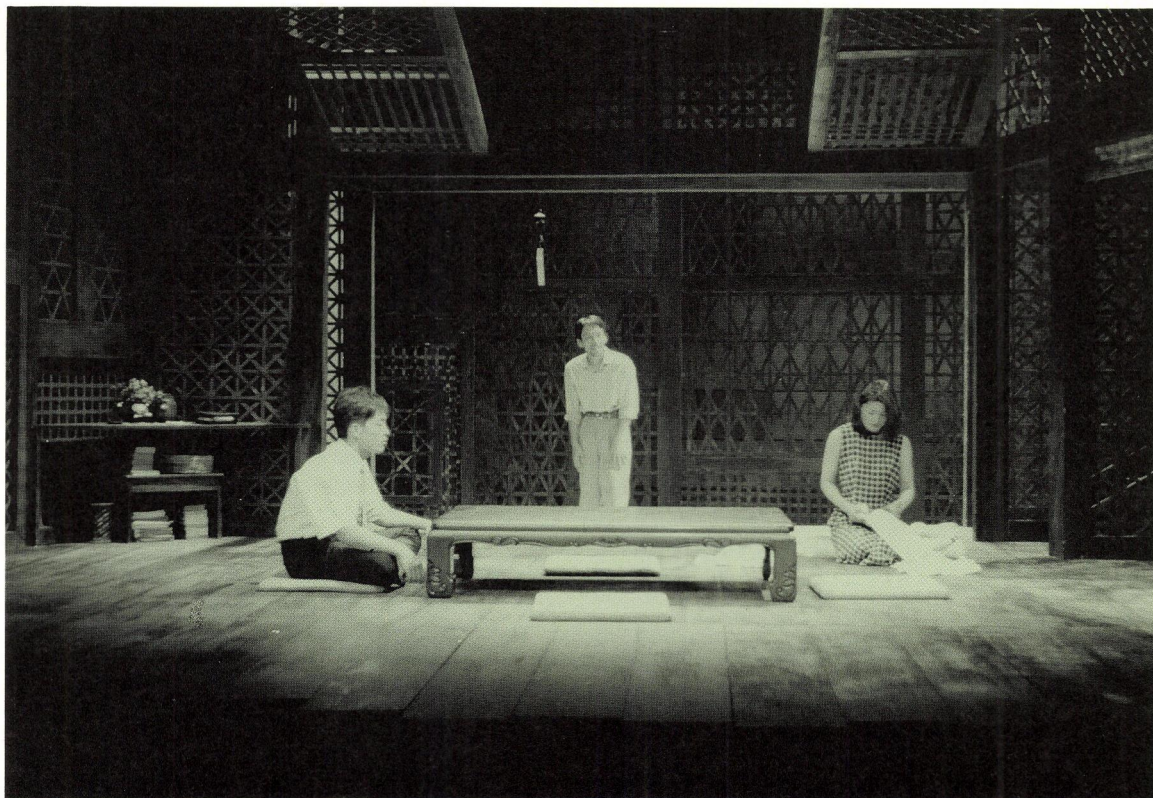
YUENCHISAISEIJIGYODAN

February 2, 1997-February 1, 1998

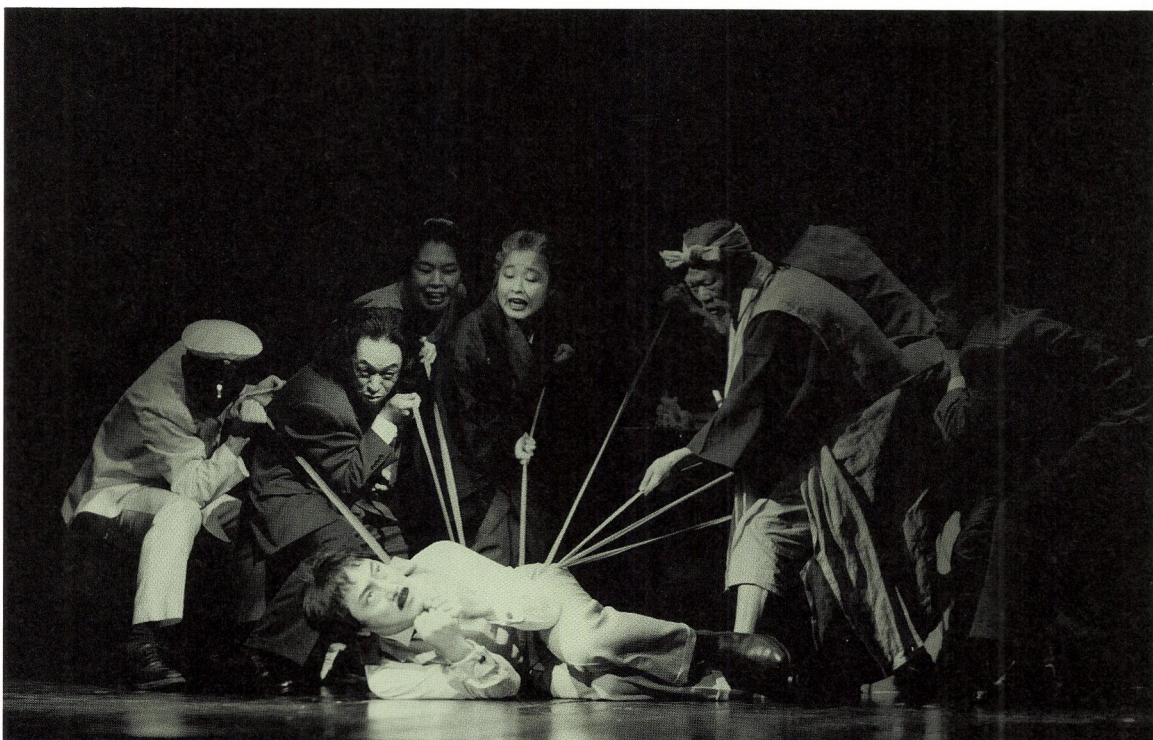
¥8,000,000 Studio rental: 41 days



SEINENDAN PRODUCE  
+ THE CAPE OF THE  
MOON PROJECT  
*The Cape of the Moon*



RIN KO GUN  
*Soseki and Hearn*  
photo by  
Masami Kuwahara



1995年度より  
From 1995

青年団  
97年7月1日～98年6月30日  
10,000,000円 スタジオ提供57日間  
SEINENDAN  
July 1, 1997-June 30, 1998  
¥10,000,000 Studio rental: 57 days

1994年度より  
From 1994

燐光群  
97年3月1日～98年2月28日  
8,000,000円 スタジオ提供33日間  
RIN KO GUN  
March 1, 1997-February 28, 1998  
¥8,000,000 Studio rental: 33 days





国際交流プログラム  
International Programs

昨年度に引き続き、C-1国際交流公演活動においては演劇・舞踊芸術を通じた国際相互理解の促進、日本の現代芸術の国際化を目的とし、国内の芸術家/芸術団体の海外公演、海外の芸術家/芸術団体の招聘公演を対象に公募した。C-2国際共同創造活動は、芸術創造活動の活性化を目的とした国際共同作業に対する助成プログラムで、国内外の芸術家による共同創造公演、その過程で行われるワークショップ等の事業が対象となっている。

本年度は申請数の増加により、公募プログラム中最激戦区となったが、まず、ダムタイプ、新宿梁山泊、パパ・タラフマラなど、かつての年間助成プログラム(現芸術創造プログラム)の対象であった団体による交流企画を優先して採択した。これらの団体は3年間の継続助成を受けた後、次の活動段階に向けてさらなる展開が期待されている。また、制作面においても芸術面においてもより厳しい局面の中健闘し、団体活動の将来に繋がる成果を残した。

また、数年来にわたる交流活動を行っているク・ナウカシアターカンパニー、竹屋啓子コンテンポラリー・ダンスカンパニー、岸田理生カンパニー、山田せつ子、PAN国際共同創作事務局からも長期的かつ明確な展望のもとに事業を推進し、海外との共同事業についての独自の方法を獲得、着実な成果をあげている。

本年度特に注目されたのは、英国Gate Theatreの主催による「くじらの墓標」(坂手洋二作)のロンドン公演である。現地非営利劇場による入念な準備活動とコーディネーションにより、日本人の演出家による英国人俳優を使った、日本の現代戯曲の英語上演という非常に貴重な公演が実現した。翻訳、演出の過程でいろいろな異文化衝突があったと聞くと、最終的な結果については日・英両陣営とも予想以上の成果と手応えを感じ取っているようだ。今後も日本の現代芸術に関心を持つ非営利機関がイニシアティブをとり、継続的にこのような共同事業が展開されていくことを期待したい。

As in the case of 1996, applications regarding international projects were accepted under two grant programs: the C-1 International Performance Program, and the C-2 International Collaboration Program. The C-1 program supports overseas performances by Japanese artists/companies, and also performances held in Japan by visiting artists/companies with the aim of promoting understanding among nations through theatre and dance, and to promote contemporary Japanese performing arts on an international level. The C-2 program supports international collaborations in order to stimulate artistic and creative activities. This includes collaborative performances by artists in and out of Japan, and also workshops that may take place during this creative process.

The Saison Foundation received many applications for the International Grant Programs in 1997 that well exceeded the capacity of the programs. In selecting the grantees, priority was given to the international exchange projects organized by DUMB TYPE, SHINJUKU RYOZANPAKU, and PAPP TARAHUMARA. These three companies were grantees of what is now called the Artistic Creativity Enhancement Programs for three consecutive years, and are expected to continue making progress in the years to come. Despite facing artistic struggles, the three grantees made accomplishments this year in terms of production and of artistic quality that promised a brighter future.

Meanwhile, KU NA'UKA THEATRE COMPANY, KEIKO TAKEYA C.D.C, KISHIDA RIO COMPANY, SETSUKO YAMADA, and PLANETARY ART NETWORK SECRETARIAT FOR CREATIVE COLLABORATION pursued their work with artists of other nations while maintaining clear and long-term perspectives, and thus acquired inventive methods for international collaborative projects.

One of the most noteworthy and unique projects of this year was the performances of *Epitaph for the Whales*, a play written by Yoji Sakate of Rin Ko Gun, and produced by the GATE THEATRE of the UK. Preparations thor-

oughly made by the non-profit London theatre enabled a Japanese director to use British actors in staging a Japanese contemporary drama translated into English. Although disagreements stemming from cultural differences occurred during the process of translation and production among those involved in this project, both the British and the Japanese were able to reach the point of understanding each other's culture in the end, and from even this fact alone, it can be said that this was a worthwhile project. The Foundation hopes that collaboration projects of this kind, organized by non-profit organizations interested in Japanese contemporary work, will be presented continuously in the future.



# C-1

## 国際交流公演活動

助成対象11件/ 助成金額22,000,000円

## International Performance Program

11 Grantees/ Total appropriations: ¥ 22,000,000

### ク・ナウカ シアターカンパニー

ク・ナウカ シアターカンパニー「天守物語」インド  
〜パキスタンツアー

97年11月30日〜12月18日

トリチュール、ラワルピンディー(カリカット大学演  
劇学部、ケララ音楽演劇アカデミー劇場、リアカッ  
トメモリアルホール)

2,000,000円

### KU NA'UKA THEATRE COMPANY

*Tenshu-Monogatari* India-Pakistan Tour

November 30 - December 18, 1997

Trichur, Rawalpindi (School of Drama, University  
of Calicut; Kerala Music and Theatre Academy  
Hall; Liaquat Memorial Hall)

¥2,000,000

### ダムタイプ

OR(オー・アール)

97年9月11日〜11月22日

リンツ、クレティユ、東京(デザイン・センター、メ  
ン・デザール・ド・クレティユ、パークタワーホー  
ル)

2,000,000円

### DUMB TYPE

OR

September 11-November 22, 1997

Linz, Creteil, Tokyo (Design Centre, Maison des  
Arts de Ceteil, Park Tower Hall)

¥2,000,000

### 新宿梁山泊

ソウル世界演劇祭「盲導犬」

97年10月3日〜6日

ソウル(トンスンアートセンター)

2,000,000円

### SHINJUKU RYOZANPAKU

Theatre of Nation '97 Seoul *The Seeing Eye  
Dog*

October 3-6, 1997

Seoul (Dong Song Art Center)

¥2,000,000

### 「大敦煌」公演実行委員会事務局

日中合同制作「大敦煌」

97年8月18日〜19日

北京(世紀劇院)

3,000,000円

### GREAT DUNHUANG PERFORMANCE

ORGANIZATION COMMITTEE

Sino-Japanese Collaboration Project *Great  
Dunhuang*

August 18-19, 1997

Beijing (Century Theater)

¥3,000,000

### 東京国際舞台芸術フェスティバル実行委員会

東京国際舞台芸術フェスティバル

97年9月20日〜10月31日

東京(世田谷パブリックシアター、シアタートラム、  
東京芸術劇場)

4,000,000円

### TOKYO INTERNATIONAL FESTIVAL OF

PERFORMING ARTS EXECUTIVE COMMITTEE

Tokyo International Festival of Performing  
Arts

September 20-October 31, 1997

Tokyo (Setagaya Public Theatre, Theatre Tram,  
Tokyo Geijutsu Gekijo)

¥4,000,000

### 舞踏舎天鵝

舞踏舎天鵝1998 USAツアー

98年2月11日〜3月23日

エルパソ、オースティン、ヒューストン、コロンバス、  
ニューヨーク、ピッツバーグ(チャミザルシアター、  
ダンスアンブレラ、ダイバーズワークス、ウェク  
スナーセンター、ジョイスシアター、エディシアター)

2,000,000円



TOKYO INTERNATIONAL FESTIVAL OF PERFORMING ARTS  
Peter Brook's *Oh les beaux jours*  
photo by Jun Ishikawa

### BUTO-SHA TENKEI

Buto-Sha Tenkei 1998 USA Tour

February 11-March 23, 1998

El Paso, Austin, Houston, Columbus, New York,  
Pittsburgh (Chamizal Theater, Dance Umbrella,  
Divers Works, Wexner Center, Joyce Theater,  
Eddy Theater)

¥2,000,000

### 富良野塾

「今日、悲別で」 「ニンゲル」富良野塾カナダ横断  
公演

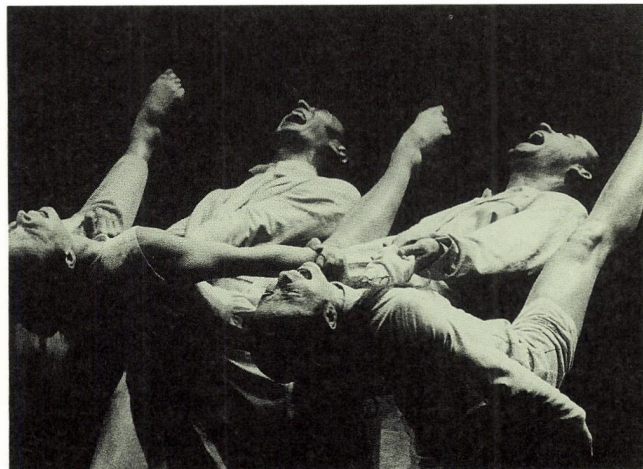
97年10月7日〜11月22日

エドモントン、トロント、ハリファクス、ヴァンクー  
ヴァー(シタデルシアター、ヤングピープルズシア  
ター、ネプチューンシアター、アーツ・クラブ・シア  
ター)

1,000,000円



KU NA'UKA THEATRE COMPANY *Tenshu-Monogatari*



TOKYO INTERNATIONAL FESTIVAL OF PERFORMING ARTS  
Compagnie Maguy Marin's *Waterzooi*; photo by Piero Tauro





FURANO NATURAL STUDIO *Ninguls*



KISHIDA RIO COMPANY *An Allegory of Love - A Woman from the Sky*

#### FURANO NATURAL STUDIO

*Kanashibetsu, Ninguls* Furano Natural Studio Canadian Tour

October 7-November 22, 1997

Edmonton, Toronto, Halifax, Vancouver (The Citadel Theatre, Young People's Theatre, Neptune Theatre, Arts Club Theatre)

¥1,000,000

日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル  
実行委員会(NIPAF)

第5回日本国際パフォーマンス・アート・フェスティ  
バル(ニパフ'98)

98年3月5日~18日

長野、名古屋、広島、東京(長野県勤労者福祉セン  
ター、名古屋芸術大学、広島市南区民センター、  
新宿文化センター)

1,000,000円

#### NIPPON INTERNATIONAL PERFORMANCE

ART FESTIVAL EXECUTIVE COMMITTEE

The Fifth Nippon International Perfor  
mance Art Festival-NIPAF '98

March 5-18, 1998

Nagano, Nagoya, Hiroshima, Tokyo (Nagano  
Prefectural Workers' Welfare Center, Nagoya  
University of Arts, Minami Ward Community  
Cultural Center, Shinjuku Bunka Center)

¥1,000,000

ハンガリーIMMT舞踏フェスティバル・ポーランド  
舞踏週間公演

ハンガリー第11回IMMT舞踏フェスティバル・  
ポーランド舞踏週間ツアー

97年10月10日~11月1日

ブダペスト、ヴロツワフ、ボズナニ、シチェン、ワ  
ルシャワ(スケネ劇場、テンチャ劇場、劇団第8曜  
日、劇団カナ、グロトフスキー研究所)

2,000,000円

BUTOH FEST AT THEATER SZKENE'S IMMT,  
'97 BUTOH WEEKLY IN POLAND

Tour for Butoh Fest at the Theater

SZKENE's IMMT, and '97 Butoh Weekly in  
Poland

October 10-November 1, 1997

Budapest, Warszawa, Poznan, Szczecin,  
Wroctaw (Theatr Szkene, Kino Teatr Tecza,  
Teatr Osmego Dnia, Teatr Kana, Osrodek Badan  
Tworczości J.Grotowskiego)

¥2,000,000

#### PAN国際共同創作事務局

「ザ・ポープロジェクト——粘膜の嵐」日本公演

97年10月30日~11月1日

東京(かめありリリオ・ホール)

2,000,000円

#### PLANETARY ART NETWORK SECRETARIAT FOR CREATIVE COLLABORATION

*The Poe Project—Stormy Membrane*

October 30-November 1, 1997

Tokyo (Kameari Lirio Hall)

¥2,000,000

#### 空中庭園

泉鏡花作:渡邊守章演出「天守物語」

98年5月26日~30日

パリ(パリ日本文化会館)

1,000,000円

#### THE HANGING GARDENS

*Tenshu Monogatari*

May 26-30, 1998

Paris (Maison de la culture à Paris)

¥1,000,000

#### C-2

##### 国際共同創造活動

助成対象5件/助成金額10,000,000円

##### International Collaboration Program

5 Grantees/ Total appropriations: ¥ 10,000,000

竹屋啓子コンテンポラリー・ダンス・カンパニー

ダンス東風Ⅲ準備・調査

98年5月24日~6月3日

ムンバイ、コーチン、チェンナイ、デリー

1,000,000円

KEIKO TAKEYA C.D.C

Research for Dance Tonpu III

May 24 - June 3, 1998

Mumbai, Cochin, Chennai, Delhi

¥1,000,000

岸田理生カンパニー

岸田理生「国境を越える演劇」シリーズ VOL.12

日韓合同ワークショップと公演「愛を巡る寓話—  
空から来た人—」

97年6月21日~7月27日

東京(タイニイ アリス)

2,000,000円

KISHIDA RIO COMPANY

The Theatre That Crosses The Boundaries

Series 12 Japan-Korea Joint Workshop-  
Production *An Allegory of Love—A Woman  
From The Sky*

June 21-July 27, 1997

Tokyo (Tiny Alice)

¥2,000,000

#### GATE THEATRE

1998 Gate Biennale *Epitaph for the Whales*

98年3月1日~21日

ロンドン(ゲイトシアター)

3,000,000円





GATE THEATRE *Epitaph for the Whales*; photo by Pau Ros



PAPPA TARAHUMARA *No Wing Bird on the Island*; photo by Jim Shum

GATE THEATRE  
1998 Gate Biennale *Epitaph for the Whales*  
March 1-21, 1998  
London (Gate Theatre)  
¥3,000,000

パパ・タラフマラ  
「No Wing Bird on the Island」コラボレーション  
プロジェクト  
97年10月17日～12月21日

台北、神奈川(国立芸術学院フェスティバルシア  
ター、ランドマークホール)  
2,000,000円 スタジオ提供27日間

PAPPA TARAHUMARA  
*No Wing Bird on the Island* Collaboration  
Project  
October 17-December 21, 1997  
Taipei, Kanagawa (National Institute of the Arts  
Festival Theatre, Landmark Hall)  
¥2,000,000 Studio Rental: 27 days

山田せつ子  
山田せつ子+チャンムダンスカンパニー共同作  
品プロジェクト

97年9月10日～10月6日  
ソウル、プサン、シドニー(ホシアンアートセン  
ター、チュンカンタン劇場、シドニーオペラハウ  
ス)  
2,000,000円

SETSUKO YAMADA  
Setsuko Yamada & ChangMu Dance  
Company Collaboration "Flower of Time"  
September 10-October 6, 1997  
Seoul, Pusan, Sydney (Hoan Arts Center, Pusan  
City Theater, Sydney Opera House)  
¥2,000,000

#### ■森下スタジオその他利用者 Other Users of Morishita Studio

ロシア・バレエ・インスティテュート  
98年1月22日～2月8日  
RUSSIAN BALLET INSTITUTE  
January 22-February 8, 1998

シルバーライニング  
97年11月4日～9日、98年7月15日～31日  
SILVER LINING INC.  
November 4-9, 1997, and July 15-31, 1998

花組芝居  
97年8月26日～31日  
HANAGUMISHIBAI  
August 26-31, 1997

ルース・ソロモン研究グループ  
97年8月1日  
RUTH SOLOMON RESEARCH GROUP  
August 1, 1997

パークタワーアートプログラム  
97年11月4日～13日、12月26日～30日、98年1月4  
日～13日  
PARK TOWER ART PROGRAM  
November 4-13, December 26-30, 1997, and  
January 4-13, 1998

木佐貴邦子  
97年12月8日～17日、21日～25日  
KUNIKO KISANUKI  
December 8-17, and December 21-25, 1997

かもねぎショット  
98年7月18日～20日、25日  
KAMONEGI-SHOT  
July 18-20, and July 25, 1998

大人計画  
98年7月6日～12日  
OTONAKEIKAKU  
July 6-12, 1998

(財)アリオ音楽財団  
98年7月21日  
ARION-EDO FOUNDATION  
July 21, 1998



## 特別助成 Special Project Support Grants

助成対象12件/ 助成総額49,429,000円  
12 Grantees/ Total appropriations: ¥ 49,429,000

現代演劇・舞踊以外の分野で、公募によらず理事・評議員によって提出された案件の中から採択されたものに対して資金援助・協力を行う特別助成事業では、国家やジャンルといった、既存の枠組みを超えて展開される創造・調査研究などの先進的活動を奨励し、特に国際交流事業への支援を行っている。

日本の現代文学をポーランド語に翻訳・出版しているワルシャワのウィルガ出版は、本助成事業により、今回、安部公房の著作集と村上春樹の『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』を刊行。また、東京インターナショナル・ミュージック・アンサンブル—新しい伝統は、ノルウェーの「ウルティマ・オスロ現代音楽祭」の招待を受けて、現代音楽の作曲家による雅楽作品等の演奏会とレクチャーを同国の地方都市を含む3ヶ所で開催。さらに、ニューヨークのジャパン・ソサエティーでは、創立90周年を記念して日本の舞台芸術の歴史を総括する年間企画を実施し、日本文化の再評価に貢献した。ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ日本名誉委員会は、日英の文化交流の促進を目的にロンドンで開催している「日本文化の夕べ」として、本年は狂言師の野村萬斎氏の一行による狂言の特別公演を主催した。

一方、1997年の「フランスにおける日本年」を日本側から支援した日仏文化事業協議会と、パリ市民を中心に日本文化を積極的に紹介した本年のフェスティバル・ドートンヌ・ア・パリに対しても資金援助が行われた。

この他、日露の学術・芸術交流の今後の可能性を探るために東京大学ロシア東欧研究連絡委員会が実施したロシア学術文化界の状況に関する実地調査活動も本助成事業の対象となった。また、継続的に支援しているアジア・カルチュラル・カウンシル (ACC) の人物交流プログラムでは、本年度日本から5名と米国から6名の芸術家、及び12の文化団体のプロジェクトが選抜された。

The Saison Foundation provides financial support for activities outside the field of contemporary theatre and dance. Grants are awarded to projects held by organizations and/or individuals recommended by the Foundation's Board of Directors and Trustees. The objective of this program is to support progressive activities involving artistic work or academic research that transcend the conventional frameworks of nations and genres.

WYDAWNICTWO WILGA (Wilga Publishing Company) of Warsaw, which has published a number of books of contemporary Japanese literature in Polish, brought out this year a collection of Kobo Abe's work and also a novel by Haruki Murakami, *Hard-Boiled Wonderland and the End of the World*. TOKYO INTERNATIONAL MUSIC ENSEMBLE - THE NEW TRADITION was invited to the Ultima Oslo Contemporary Music Festival, and gave concerts of Japanese traditional court music composed by contemporary composers and also lectures in three Norwegian cities. The Japan Society in New York celebrated its 90th anniversary with a year-long program that presented the history of Japanese performing arts, and contributed to the reassessment of Japanese culture. THE JAPANESE COMMITTEE OF HONOUR IN JAPAN OF THE ROYAL ACADEMY OF ARTS sponsored a special Kyogen performance by Mr. Mansai Nomura for this year's "Japanese Cultural Evening" in London.

Grants were also awarded to the ASSOCIATION OF JAPAN-FRANCE CULTURE EVENTS, an organization which supported activities related to the "the Year of Japan in France" project, and to FESTIVAL D'AUTOMNE A PARIS, at which Japanese culture was featured on a grand scale in accordance with the above-mentioned project in France.

Support was also extended to THE COMMITTEE ON RUSSIAN AND EAST EUROPEAN STUDIES AT THE UNIVERSITY OF TOKYO that carried out a research on future perspectives on scholarly and artistic exchange activities between Japan and Russia. Additionally, continual annual funding was provided to the Japan-United States Arts Program of the ASIAN CULTURAL COUNCIL, which supported exchange activities of five Japanese and six US artists, and twelve cultural organizations.



■ 翻訳出版事業  
Translation and publication projects

ウィルガ出版

"Japanese Library" 日本現代文学シリーズ

97年6月1日～98年5月31日

ワルシャワ

1,000,000円

WYDAWNICTWO WILGA

"Japanese Library": a series of books by various authors representing contemporary Japanese literature translated into Polish

June 1, 1997-May 31, 1998

Warsaw

¥1,000,000

大岡信

Katydid Booksによる出版活動

97年5月1日～98年4月30日

アメリカ

1,000,000円

OOKA MAKOTO

Asian Poetry in Translation: Japan, and Reflections by Katydid Books

May 1, 1997-April 30, 1998

USA

¥1,000,000

■ 国際文化交流事業  
International cultural exchange projects

アジア・カルチュラル・カウンシル

日米芸術交流プログラム

98年1月1日～12月31日

日本、アメリカ

7,000,000円

ASIAN CULTURAL COUNCIL

ACC Japan-United States Arts Program Fellowships

January 1-December 31, 1998

¥7,000,000

東京インターナショナル・ミュージック・アンサンブル新しい伝統

ノルウェー公演(ウルティマ・オスロ現代音楽祭)

97年10月3日～9日

オスロ、ストード、ベルゲン(オスロ大学オーラ・ホール、ストード文化会館、ベルゲン グリーク ホール)

1,000,000円

TOKYO INTERNATIONAL MUSIC ENSEMBLE  
—THE NEW TRADITION

ULTIMA Oslo Contemporary Music Festival  
October 3-9, 1997

Oslo, Stord, Bergen (Oslo Universitetets Aula Hallen, Stord Kulturhuset, Bergen Grieg Hallen)

¥1,000,000

ジャパン・ソサエティー

Japanese Theater in the World

97年10月1日～98年2月28日

ニューヨーク(ジャパン・ソサエティー)

5,000,000円

JAPAN SOCIETY, INC.

Japanese Theater in the World

October 1, 1997-February 28, 1998

New York (Japan Society)

¥5,000,000

ロイヤル・アカデミー日本名誉委員会

日本文化のタベ1997

97年5月20日

ロンドン(在連合王国日本大使館、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ)

4,862,000円

JAPANESE COMMITTEE OF HONOUR OF  
THE ROYAL ACADEMY OF ARTS  
1997 Japanese Cultural Evening

May 20, 1997

London (Embassy of Japan, London; Royal Academy of Arts, London)

¥4,862,000

ハケ岳高原音楽祭'97実行委員会

ハケ岳高原音楽祭'97

97年9月26日～28日

長野(ハケ岳高原音楽堂)

9,867,000円

YATSUGATAKE KOGEN MUSIC FESTIVAL '97  
EXECUTIVE COMMITTEE

Yatsugatake Kogen Music Festival '97

September 26-28, 1997

Nagano (Yatsugatake Kogen Music Hall)

¥9,867,000

日英詩人交流プログラム

日英詩人交流プログラム(1998年招聘のための準備)

97年4月1日～98年2月28日

東京、ロンドン

1,000,000円

COMMITTEE OF ANGLO-JAPANESE POET  
EXCHANGE PROGRAMME

Anglo-Japanese Poet Exchange Programme

April 1, 1997-February 28, 1998

Tokyo and London

¥1,000,000

FESTIVAL DER FRAUEN (女性のためのフェスティバル)

Hammoniale-Festival der Frauen 1997

97年6月20日～21日

ハンブルク

7,900,000円

FESTIVAL DER FRAUEN

Hammoniale-Festival der Frauen 1997

June 20-21, 1997

Hamburg

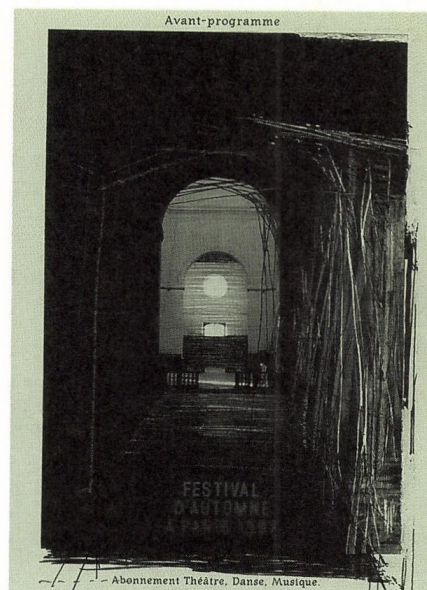
¥7,900,000

FESTIVAL D'AUTOMNE A PARIS

日本文化紹介

97年9月23日～12月21日

パリ及び郊外(パリ日本文化会館他)



Program for FESTIVAL D'AUTOMNE A PARIS

8,000,000円

FESTIVAL D'AUTOMNE A PARIS

Festival d'Automne à Paris – Japanese Program

September 23-December 21, 1997

Paris and its suburbs (Maison de la Culture du Japon, etc.)

¥8,000,000

日仏文化事業協議会

フランスにおける日本年支援プログラム(観世流パリ公演)

97年11月25日～12月2日

パリ(ラ・ヴィレット 大ホール内特設能舞台)

2,000,000円

ASSOCIATION OF JAPAN-FRANCE CULTURE  
EVENTS

Festival d'Automne à Paris (for Noh

performances in Paris by the Kanze School)

November 25-December 2, 1997

Paris (Grande Halle de la Villette)

¥2,000,000

■ 調査・研究活動  
Research and studies

東京大学ロシア東欧研究連絡委員会

ロシア学術文化界状況調査

97年4月26日～5月5日

モスクワ

800,000円

THE COMMITTEE ON RUSSIAN AND EAST  
EUROPEAN STUDIES AT THE UNIVERSITY OF  
TOKYO

Researches on the Contemporary Situation  
of Arts and Sciences in Russia

April 26-May 5, 1997

Moscow

¥800,000



THEATER PROJECT TEAM THE GAZIRA  
*The Front of the Green House*  
photo by Hiromi Hata











Triangle Arts Program Project in Dance in Tokyo

## 国際共同創作事業

### International Collaboration Programs

トライアングル・アーツ・プログラム プロジェクト インダンス (アメリカ、インドネシア、日本のダンス分野における人物交流プログラム)

各国から推薦されたダンサー/振付家、制作者、研究者/批評家らがグループで各地を滞在しつつ地域のダンス関係者との交流を深める。参加者が異文化と出会い、新しい創造のための経験を獲得する過程を支援するプログラム。94年度の開催に引き続き2回目の開催。

期日・会場:

#### ■アメリカ

1997年7月31日～8月27日  
ベイツ・ダンス・フェスティバル (メイン)  
UCLAインロード/アジア (カリフォルニア)

#### ■インドネシア

1997年9月15日～10月13日  
ジョグジャカルタ、ソロ、ジャカルタ

#### ■日本

1997年10月14日～11月11日  
森下スタジオ (東京)、京都

参加者:

#### ■アメリカ

ナンシー・スターク・スミス (ダンサー/振付家)  
ローラ・ファール (フェスティバル・ディレクター)

#### ■インドネシア

スカルジ・スリマン (ダンサー/振付家)  
イスカンダール・カマ・ローディン (照明家)

#### ■日本

山崎広太 (ダンサー/振付家)、佐東範一 (舞踊制作)、伊藤恭子 (舞踊批評/ジャーナリスト/日本のみの参加)

共催:

アジア・カルチュラル・カウンスル、  
ニュー・イングランド・ファンデーション・フォー・ジ・アーツ

助成:

国際交流基金 (アメリカ開催に対して)、  
東京都歴史文化財団 (トライアングル・アーツ・プロジェクト東京による日本開催に対して)

\* \* \*

Triangle Arts Program Project in Dance  
(An exchange program of dance in the US, Indonesia, and Japan)

Dancers and choreographers, producers, researchers and critics from the three nations toured and stayed in a number of cities in each country to exchange ideas with the local dance community of the host country. The aim of the program was to support the creative process shared by the participants, who would go through intercultural encounters during this program, and, hopefully, gain experience that would become basis for their future work. This was the second project in the program that started in 1994.

Dates and places:

#### ■The United States

July 31-August 27, 1997  
Bates Dance Festival (Maine),  
UCLA InroadsAsia (California)

#### ■Indonesia

September 15-October 13, 1997  
Jogjakarta, Solo, Jakarta

#### ■Japan

October 14-November 11, 1997  
Morishita Studio (Tokyo), Kyoto

Participants:

#### ■From the US

Nancy Stark Smith, *dancer and choreographer*  
Laura Faure, *festival director*

#### ■From Indonesia

Sukarji Sriman, *dancer and choreographer*  
Iskandar Kama Loedin, *lighting designer*

#### ■From Japan:

Kota Yamazaki, *dancer and choreographer*  
Norikazu Sato, *dance manager*  
Kyoko Ito, *dance critic and journalist* (Ms Ito was able to participate only in the programs in Japan)

Co-sponsored by:

Asian Cultural Council, New England Foundation for the Arts

Supported by:

The Japan Foundation (for programs in the US),  
Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture (for programs in Tokyo)



## 制作実践セミナー

### Arts Management Seminar Sessions

#### 第3回「芸術団体の法人化」

講師:

桑野雄一郎(濱田松本法律事務所、弁護士)、  
梶屋一之(有限会社ノイズ/劇団NOISE)

期日:1997年7月29日

会場:森下スタジオ(東京)



ARTS MANAGEMENT SEMINAR Session 3

芸術団体の法人化に詳しい弁護士の桑野雄一郎氏によるレクチャー「芸術団体の法人化」と、劇団NOISEを会社組織化してから長い実績のある制作者の梶屋一之氏によるケーススタディ「芸術団体の法人化の理想と現実」を実施。桑野氏は現行法における団体・法人制度の概要、芸術団体と法人制度に関する事例と問題点、今後の対応に関して、梶屋氏はNOISEの法人化の経緯、小規模な芸術団体の法人化の現状、今後のあり方などを講義。法人格取得を検討中の芸術団体の制作者を中心に27名が参加した。

\* \* \*

#### Session 3: Incorporation of Art Organizations

Lecturers: Yuichiro Kuwano (Attorney-at-Law, Hamada & Matsumoto) and Kazuyuki Kajiya (Producer, Noise Inc.)

Date: July 29, 1997

Venue: Morishita Studio, Tokyo

Lectures related to the topic on how to incorporate art organizations in Japan were given at this seminar by Mr. Yuichiro Kuwano, an attorney-at-law, and Mr. Kazuyuki Kajiya, a long-time producer of a theater company called Noise. Mr. Kuwano outlined first the present methods to form legal corporations in general, and then explained the practical judicial procedures taken to constitute an art organization as a legal corporation. The lawyer also pointed out problems within the Japanese incorporation system which may turn out to be obstacles for organizations involved in the arts. Furthermore, as a case study of this topic, Mr. Kajiya shared his experiences on the process of incorporating Noise by explaining the facts and details that took place, and also the circumstances surrounding small art organizations. Among the twenty-seven attendees, a large number of producers from art organizations, mainly contemporary theater and dance companies, considering incorporation were present.

#### 第4回「現代舞踊の活性化に向けて」

講師:

ローラ・ファール(ベイツ・ダンス・フェスティバル・エグゼクティブ・ディレクター)、  
佐東範一(制作/DTWインターン)

期日:1997年10月29日

会場:森下スタジオ(東京)



ARTS MANAGEMENT SEMINAR Session 4

トライアングル・アーツ・プログラム プロジェクト インダンス東京の一企画として実施。米・ニューイングランド北部を代表するベイツ・ダンス・フェスティバルのディレクター、ローラ・ファール氏による同フェスティバルの説明と、ニューヨークのサービス・オーガニゼーションDTW(ダンス・シアター・ワークショップ)で研修を終えた佐東範一氏による同機関が実施するナショナル・パフォーマンス・ネットワークの実例紹介を中心とした報告会。ダンス・カンパニーの制作者、フェスティバル関係者を中心に14名が参加した。

\* \* \*

#### Session 4: Activation of Contemporary Dance

Lecturers: Laura Faure (Executive Director, Bates Dance Festival) and Norikazu Sato (Producer, DTW Intern)

Date: October 29, 1997

Venue: Morishita Studio, Tokyo

This session was held as a part of the Triangle Arts Program Project in Dance. Ms. Laura Faure spoke about the Bates Dance Festival, one of the most significant performing arts events of New England. Mr. Sato, who had just finished his internship at a service organization in New York called DTW (Dance Theater Workshop), gave a report on the National Performance Network carried out by DTW. Fourteen members, including producers from dance companies and festival organizations, participated in this seminar.

#### 第5回「地方公演のルート作りー効果的なアプローチとプレゼンテーションの方法」

講師:

津村卓(財団法人地域創造)

坂手洋二(燐光群)

期日:1998年2月6日

会場:森下スタジオ(東京)



ARTS MANAGEMENT SEMINAR Session 5

全国各地のホール事情に詳しい財団法人地域創造・芸術環境部チーフ・ディレクターの津村卓氏によるレクチャー「地方公演を実現するために」と、97年に国内12都市を巡演した燐光群の坂手洋二氏によるケーススタディ「漱石とヘルン」の全国公演」を実施。津村氏は全国の公立ホールの概況、プレゼンテーションのポイントなどのレクチャーとともに、現代演劇やコンテンポラリー・ダンスに興味を持つホールと担当者を紹介。坂手氏は86年からほぼ毎年行っている旅公演に関する経験談を披露。地方公演に興味を持つ芸術団体の制作者など32名が参加した。

\* \* \*

#### Session 5: Building Networks for Local Performance Tours – Effective Ways to Approach Local Public Halls and Methods of Presentation

Lecturers: Takashi Tsumura (Art Environment Department, Japan Foundation for Regional Art-Activities) and Yoji Sakate (Rin Ko Gun)

Date: February 6, 1998

Venue: Morishita Studio, Tokyo

A lecture was given on the theme “How to Plan Local Performance Tours” by Mr. Takashi Tsumura, chief director of the Art Environment Department at the Japan Foundation for Regional Art-Activities, who is an expert on public theaters and halls throughout Japan. Mr. Tsumura described the present situations of local public halls, gave tips on presentation methods, and listed the names of staff members of the halls interested in inviting contemporary theater and dance performances. In addition, a case study on the tour of *Soseki and Hearn* was presented by Mr. Yoji Sakate, who wrote the play and organized a performance tour of twelve cities in Japan with his company, Rin Ko Gun. Mr. Sakate also shared his experiences of the annual domestic tours, which have been organized since 1986, with the audience. Thirty-two persons attended the seminar, including producers from theater and dance companies interested in arranging domestic tours in the future.

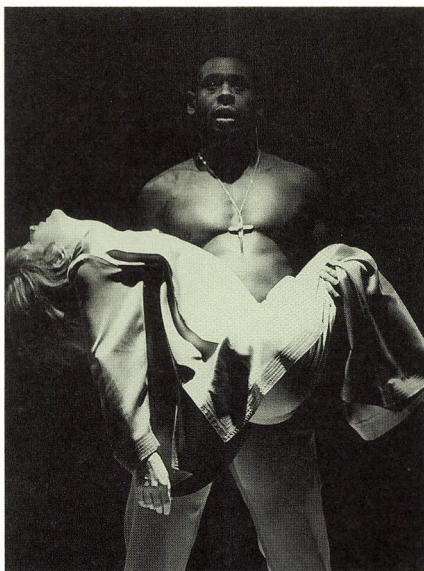


**演劇招聘公演**  
**Invitational Performances**

ロイヤル・ナショナル・シアター  
ウィリアム・シェイクスピア原作  
「オセロー」  
演出:サム・メンデス  
期日:98年1月22日~98年2月7日  
会場:銀座セゾン劇場(東京)  
共催:読売新聞社  
後援:英国大使館/ブリティッシュ・カウンシル  
企画制作:銀座セゾン劇場

\* \* \*

Royal National Theatre  
*Othello*  
By William Shakespeare  
Directed by Sam Mendes  
January 22-February 7, 1998  
Tokyo (Ginza Saison Theatre)  
In cooperation with The Yomiuri Shimbun  
Supported by: The British Embassy, The British Council  
Produced by: The Ginza Saison Theatre



ROYAL NATIONAL THEATRE *Othello*; photo by Masahiko Yakoh



**シンポジウム**  
**Symposium**

**文化支援の展望—公的・民間支援の可能性**

期日:97年4月21日  
会場:ドイツ文化会館ホール(東京)  
主催:東京ドイツ文化センター  
共催:ニッセイ基礎研究所  
パネリスト:

ヒルマー・ホフマン(ドイツ文化センター総裁)  
クラウス・モーリス(ドイツ全州文化財団事務局長)  
霜島秋樹(文化庁文化部長)  
吉本光宏(ニッセイ基礎研究所主任研究員)  
片山正夫(当財団事務局長)

\* \* \*

**"Public and Private Cultural Support - The New Alliance"**

April 21, 1997  
Tokyo (The German Cultural Center Hall)  
Sponsored by: Goethe Institut (German Cultural Center) Tokyo  
In cooperation with: NLI Research Institute  
Panelists:  
Prof. Hilmar Hoffmann (President, Goethe Institut),  
Klaus Maurice (Secretary General, Kulturstiftung der Länder),  
Akinori Shimotori (Director-General, Cultural Affairs Department, Agency for Cultural Affairs),  
Mitsuhiro Yoshimoto (Chief Researcher, NLI Research Institute),  
Masao Katayama (Secretary-General, The Saison Foundation)

**ニュースレター「viewpoint」の刊行**  
**Publication of Newsletter viewpoint**

研究助成の成果など、当財団の助成事業に関連した論考、レポートを幅広く掲載。芸術団体、自治体、助成財団、マスコミ、大学、シンクタンク等に無料配布しています。

\* \* \*

Digests on grant research results, and articles on the Foundation's grant programs, and various other reports are published in the newsletter. The newsletter is circulated free of charge to art organizations, local governments, the press, universities, and think-tanks.

**第3号(97年7月発行)内容:**

高橋昌也(セゾン劇場芸術総監督)  
「目から鱗のおちた体験—ジャック・ルコックのプロの演技教育」  
佐藤郁哉(一橋大学商学部助教授)  
「演劇の力・文化の力」  
ほか

**Issue No. 3 (Published: July 1997)**

**Contents:**  
"Scales Fell Off From My Eyes - Jacques Lecoq's Movement Training for the Actor," written by Masaya Takahashi, Artistic Director, Ginza Saison Theatre;  
"Power of Theatre, Power of Culture," by Ikuya Sato, Associate Professor, Faculty of Commerce, Hitotsubashi University;  
and other articles.

**第4号(97年11月発行)内容:**

片山泰輔(三和総合研究所シニア・エコノミスト)  
「米国連邦政府(NEA)の演劇・ダンス支援政策の

**軌跡]**

桑野雄一郎(弁護士)

「芸術団体の法人化をめぐる—『第3の選択肢』としての合資会社」

ほか

**Issue No. 4 (Published: November 1997)**  
**Contents:**

"The Support Policies of the NEA to Theater and Dance," by Taisuke Katayama, Senior Economist of Public Finance and Cultural Policy, Sanwa Research Institute;  
"Incorporation of Art Organizations - Limited Partnership as the Third Alternative," by Yuichiro Kuwano, attorney-at-law;  
and other articles.

**第5号(98年2月発行)内容:**

河島伸子(英国ウォーリック大学舞台芸術学部文化政策研究センター、リサーチ・フェロー)  
「イギリスにおける舞台芸術への支援策:地方分散、職業としての演劇、マネジメントの奨励」  
伊藤恭子(舞踊評論家・ジャーナリスト)  
「才能を覚醒させる装置としての交流」  
ほか

**Issue No. 5 (Published: February 1998)**

**Contents:**  
"Aspects of Theatre Policy in Britain: Decentralisation and Regional Support, Theatre as a Profession, and Encouragement of Theatre Management," by Nobuko Kawashima, Research Fellow, Centre for the Study of Cultural Policy, School of Theatre Studies, University of Warwick;  
"Exchange Programs as a Device to Awaken Potential Abilities," by Kyoko Ito, dance critic and journalist;  
and other articles.



## 事業日誌 Review of Activities

### 1997年

4月16日  
審査委員会  
4月21日  
シンポジウム「文化支援の展望—公的・民間支援の可能性」開催  
5月15日  
第12回理事会（1996年度事業及び収支決算報告の件、1997年度助成事業の件、1997年度収支予算変更の件、評議員選出の件、副理事長選出の件）  
第12回評議員会（1996年度事業及び収支決算報告の件、1997年度助成事業の件、1997年度収支予算変更の件、役員選出の件）  
5月16日  
1997年度助成決定通知  
5月27日  
1997年度助成対象者面接開始  
6月6日  
副理事長新設  
6月11日  
文化庁に1996年度事業報告書及び収支決算報告書、1997年度事業計画書及び収支予算報告書提出  
7月20日  
『viewpoint』3号発行  
7月29日  
第3回制作実践セミナー  
7月31日～8月27日  
トライアングル・アーツ・プログラム（アメリカ）  
9月15日～10月13日  
トライアングル・アーツ・プログラム（インドネシア）  
10月14日～11月11日  
トライアングル・アーツ・プログラム（日本）  
10月29日  
第4回制作実践セミナー  
11月4日  
1998年度《現代演劇・舞踊助成》募集開始  
11月30日  
『viewpoint』4号発行

### 1998年

1月22日～2月7日  
ロイヤル・ナショナル・シアター公演「オセロー」  
2月6日  
第5回制作実践セミナー  
2月27日  
1998年度助成申請締切  
2月28日  
『viewpoint』5号発行  
3月17日  
第13回理事会（1998年度事業計画及び収支予算の件）  
第13回評議員会（1998年度事業計画及び収支予算の件）  
3月31日  
文化庁に1998年度事業計画書及び収支予算書提出

### Year 1997

April 16  
Evaluation and Selection Committee meeting held  
April 21  
“Public and Private Cultural Support – The New Alliance” symposium held  
May 15  
12th Board of Directors meeting (Agenda: report on 1996 activities and settlement of accounts; proposal and discussion on 1997 planned activities and proposed budget, selection of trustee members, selection of vice chairman)  
12th Board of Trustees meeting (Agenda: report on 1996 activities and settlement of accounts, proposal and discussion on 1997 planned activities and proposed budget, selection of Board of Directors members,)  
May 16  
Notification to applicants on 1997 grant selection results  
May 27  
Interviews with 1997 grantees begin  
June 6  
Position of Vice Chairman authorized by the Agency of Cultural Affairs  
June 11  
Reports on 1996 activities and settlement of accounts, and on 1997 plans and budget submitted to the Agency for Cultural Affairs  
July 20  
The third issue of the Foundation's newsletter, *viewpoint*, is published  
July 29  
Arts Management Seminar Session 3 is held  
July 31-August 27  
Triangle Arts Program takes place in the U.S.  
September 15-October 13  
Triangle Arts Program takes place in Indonesia  
October 14-November 11  
Triangle Arts Program takes place in Japan  
October 29  
Arts Management Seminar Session 4 is held  
November 4  
Application period begins for 1998 Contemporary Theater and Dance Grants  
November 30  
Publication of the fourth issue of *viewpoint*

### Year 1998

January 22-February 7  
Royal National Theatre performs *Othello* at the Ginza Saison Theatre in Tokyo (Sponsored by the Saison Foundation)  
February 6  
Arts Management Seminar Session 5 is held  
February 27  
Deadline for 1998 Grants  
February 28  
Publication of the fifth issue of *viewpoint*  
March 17  
13th Board of Directors meeting (Agenda: proposal and discussion on 1998 plans and budget)  
13th Board of Trustees meeting (Agenda: proposal and discussion on 1998 plans and budget)  
March 31  
Submission of 1998 plans and budget to the Agency for Cultural Affairs



# 会計報告 Financial Report

## 収支計算書 1997年4月1日～1998年3月31日

STATEMENT OF REVENUES, EXPENSES from April 1, 1997 to March 31, 1998

単位:円/in yen

<b>I 収入の部 REVENUE</b>	
1. 基本財産運用収入 Investment income from endowment	127,991,135
2. 運用財産運用収入 Investment income from operating fund	62,561,171
3. 運用財産収入 Contributions	100,000,000
4. 賃貸収入 Income from lease	28,290,144
5. 雑収入 Miscellaneous income	98,690
6. 繰入金収入 Income transfered from special account	10,390,431
当期収入合計 Net Total Revenue	329,331,571
前期繰越収支差額 Balance Brought Forward	280,656,980
収入合計 Balance Brought Forward	609,988,551
<b>I 支出の部 EXPENSES</b>	
1. 事業費 Program Services	314,777,211
(うち助成事業/現代演劇・舞踊 Grant Programs/ Contemporary Theater and Dance Grants)	(99,000,000)
(うち助成事業/特別 Grant programs/ Special Projects Support Grants)	(49,430,179)
(うち自主製作事業 Sponsorship Programs)	(104,140,747)
2. 管理費 General managment	109,123,409
3. 繰入金支出 Expenses transferred from special account	10,390,431
当期支出合計 Total Expenses	434,291,051
当期収支差額 FUND BALANCES	△104,959,480
次期繰越収支差額 BALANCE CARRIED FORWARD	175,697,500

## 貸借対照表 1998年3月31日現在

BALANCE SHEET as of March 31, 1998

単位:円/in yen

<b>I 資産の部 ASSETS</b>	
1. 流動資産 Current Assets	
現金預金 Cash	5,755,781
未収収益等 Accrued revenue	13,512,679
有価証券等 Marketable securities	160,549,954
流動資産合計 Total current assets	179,818,414
2. 固定資産 Fixed assets	
基本財産 Endowment fund	
有価証券 Marketable securities	4,500,000,000
土地 Land	2,254,915,150
基本財産合計 Total endowment fund	6,754,915,150
その他の固定資産 Other fixed assets	3,655,611,968
固定資産合計 Total fixed assets	10,410,527,118
資産合計 Total Assets	10,590,345,532
<b>II 負債の部 LIABILITIES</b>	
負債合計 Total Liabilities	8,611,414
<b>III 正味財産の部 NET ASSETS</b>	
正味財産 Net assets	10,581,734,118
(うち基本金 Endowment fund)	(6,754,915,150)
(うち当期正味財産増加額 Increment of assets)	(△124,257,578)
負債および正味財産合計 Total Liabilities and Net Assets	10,590,345,532



**資金助成の概況**  
**Summary of Financial Support**

分野 category	年度 year	申請件数 number of applications	助成件数 number of grants made	助成金額(¥) grants in yen
<b>現代演劇・舞踊助成</b> Contemporary Theater and Dance Grants				
	1987-93	608	186	718,361,000
	1994	351	46	128,643,000
	1995	227	40	100,000,000
	1996	207	43	110,500,000
	1997	206	38	99,000,000
	累計 total	1599	353	1,156,504,000
<b>特別助成</b> Special Project Support Grants				
	1987-93	114	75	397,745,000
	1994	14	12	31,350,000
	1995	13	9	27,830,000
	1996	8	6	17,394,000
	1997	12	12	49,430,000
	累計 total	161	114	523,749,000



## 役員・評議員名簿

1998年3月31日現在  
(五十音順)

### 理事長

堤 清二  
セゾンコーポレーション会長

### 副理事長

絹村 和夫  
セゾンコーポレーション副会長

### 常務理事

八木 忠栄  
セゾンコーポレーション文化室長

### 理事

生野 重夫  
セゾン生命保険相談役

石川 六郎  
鹿島名誉会長

片山 正夫  
事務局長兼任

河竹登志夫  
日本演劇協会会長・早稲田大学名誉教授

木田 宏  
新国立劇場運営財団理事長

佐野文一郎  
内外学生センター会長

白洲 正子  
著述業

永井 道雄  
国連大学協力会理事長

羽倉 信也

平岩 外四  
東京電力相談役

本野 盛幸  
元駐仏大使

山崎 富治  
山種美術財団理事長

### 監事

伊藤 醇  
中央監査法人代表社員・公認会計士

堤 麻子

原後 山治  
弁護士

### 評議員

朝倉 摂  
舞台美術家/劇場コンサルタント

阿部 良雄  
上智大学文学部教授・仏文学者

生野 重夫  
セゾン生命保険相談役

一柳 慧  
作曲家・ピアニスト

伊夫伎一雄  
東京三菱銀行相談役

植木 浩  
ボークス美術振興財団理事

宇佐美昭次  
セゾン劇場社長

小田島雄志  
東京芸術劇場館長・文京女子短期大学教授

川上 浩  
ヤマハ顧問

川口 幹夫  
日本放送協会顧問

絹村 和夫  
セゾンコーポレーション副会長

紀国 憲一  
国立学園理事

小池 一子  
武蔵野美術大学造形学部教授

後藤 茂  
ファミリーマート社長

近藤 道生  
博報堂代表取締役

三枝佐枝子  
日本女子大学理事

三枝 成彰  
作曲家

佐治 俊彦  
SSコミュニケーションズ社長

高橋 昌也  
銀座セゾン劇場芸術総監督

高橋 康也  
昭和女子大学教授

團 伊玖磨  
作曲家・日本芸術院会員

遠山 一行  
新国立劇場運営財団副理事長

中原 佑介  
美術評論家・京都精華大学教授

中村雄二郎  
哲学者・明治大学名誉教授

西村 恭子  
京都府公安委員

野村 喬  
演劇評論家

水落 潔  
演劇評論家

宮本 保孝  
全国信用金庫連合会理事長

山口 勝弘  
神戸芸術工科大学教授・メディアアーティスト

山崎 正和  
東亜大学大学院教授・評論家・劇作家

山田 晶義  
パルコ会長



## Board of Directors and Trustees

as of March 31, 1998  
in alphabetical order

### CHAIRMAN

**Seiji Tsutsumi**  
*Chairman, Saison Corporation*

### VICE CHAIRMAN

**Kazuo Kinumura**  
*Vice Chairman, Saison Corporation*

### MANAGING DIRECTOR

**Chuei Yagi**  
*Director, Cultural Section, Saison Corporation*

### DIRECTORS

**Nobuya Hagura**

**Gaishi Hiraiwa**  
*Counselor, The Tokyo Electric Power Co., Inc.*

**Shigeo Ikuno**  
*Advisor, Saison Life Insurance Co., Ltd.*

**Rokuro Ishikawa**  
*Chairman, Kajima Co.*

**Masao Katayama**  
*Secretary-General, The Saison Foundation*

**Toshio Kawatake**  
*Chairman, Japan Theatre Arts Association; Professor Emeritus, Waseda University*

**Hiroshi Kida**  
*President, New National Theatre, Tokyo*

**Moriyuki Motono**  
*Former Japanese Ambassador to France*

**Michio Nagai**  
*Executive Director, The Japan Foundation for the United Nations University*

**Bunichiro Sano**  
*President, Center for Domestic and Foreign Students*

**Masako Shirasu**  
*Novelist and Essayist*

**Tomiji Yamazaki**  
*Chairman, Yamatane Art Foundation*

### AUDITORS

**Sanji Harago**  
*Attorney at Law*

**Jun Ito**  
*Managing Partner, Chuo Audit Co.,; Certified Public Accountant*

**Asako Tsutsumi**

### TRUSTEES

**Yoshio Abe**  
*Professor, Faculty of Literature, Sophia University*

**Setsu Asakura**  
*Theater Designer and Consultant*

**Ikuma Dan**  
*Composer; Member of the Art Academy of Japan*

**Shigeru Goto**  
*President and Chief Executive Officer, Family Mart Co., Ltd.*

**Kazuo Ibuki**  
*Counsellor, Bank of Tokyo-Mitsubishi, Ltd.*

**Toshi Ichinyanagi**  
*Composer and Pianist*

**Shigeo Ikuno**  
*Advisor, Saison Life Insurance Co., Ltd.*

**Mikio Kawaguchi**  
*Advisor, Japan Broadcasting Corporation*

**Hiroshi Kawakami**  
*Adviser to Yamaha Co., Ltd.*

**Ken'ichi Kinokuni**  
*Director, Kunitachi Gakuen Educational Foundation*

**Kazuo Kinumura**  
*Vice Chairman, Saison Corporation*

**Kazuko Koike**  
*Professor, Musashino Art University*

**Michitaka Kondo**  
*Representative Director of the Board, Hakuodo Inc.*

**Yasutaka Miyamoto**  
*President, The Zenshinren Bank*

**Kiyoshi Mizoochi**  
*Theater Critic*

**Yusuke Nakahara**  
*Art Critic; Professor, Kyoto Seika University*

**Yujiro Nakamura**  
*Philosopher; Professor Emeritus of Meiji University*

**Yasuko Nishimura**  
*Kyoto Prefectural Public Safety Commissioner*

**Takashi Nomura**  
*Theater Critic*

**Yushi Odashima**  
*Director-General, Tokyo Metropolitan Art Space*

**Shigeaki Saegusa**  
*Composer*

**Saeko Saigusa**  
*Director, Japan Women's University*

**Toshihiko Saji**  
*President, SS Communications, Inc.*

**Masaya Takahashi**  
*Artistic Director, Ginza Saison Theatre*

**Yasunari Takahashi**  
*Professor, Showa Women's University*

**Kazuyuki Toyama**  
*Deputy Director-General, New National Theatre, Tokyo*

**Hiroshi Ueki**  
*Director, Pola Art Foundation*

**Shoji Usami**  
*President, Saison Theatre, Ltd.*

**Masayoshi Yamada**  
*Chairman, Parco Co., Ltd.*

**Katsuhiro Yamaguchi**  
*Professor, Kobe Design University; Media Artist*

**Masakazu Yamazaki**  
*Professor, Graduate School, East Asia University; Critic; Playwright*



セゾン文化財団では、現代演劇・舞踊助成への申請を募集しています。

1999年度助成の対象となるのは、1999年4月から2000年3月までの1年間に行われる活動です。募集要項および申請書は1998年10月より配布いたしております。ご希望の方は下記事務局までご請求ください。

お問い合わせ:

財団法人セゾン文化財団 事務局

〒104-0031

東京都中央区京橋1-6-13

アサコ京橋ビル5F

TEL: 03(3535)5566

FAX: 03(3535)5565

Application Information for Contemporary Theater and Dance Grants

Grants for 1999 will be made for projects scheduled to take place at any point during the year between April 1, 1999 to March 31, 2000. Application guidelines and forms are available from October 1998. Please make inquiries to:

THE SAISON FOUNDATION

1-6-13 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031, Japan

TEL: +81 3(3535)5566

FAX: +81 3(3535)5565

## セゾン文化財団

設立年月日: 1987年7月13日

主務官庁: 文化庁

基本財産: 6,754,915,150円(1998年3月31日現在)

## 事務局

事務局長:

片山正夫

事業部:

久野敦子(プログラム・ディレクター)

福富達夫(プログラム・オフィサー)

稲石奈津子(プログラム・オフィサー)

岡本純子(プログラム・アシスタント)

管理部:

坂上孝男

## 1997年度 事業報告書

1998年10月発行

財団法人セゾン文化財団

〒104-0031

東京都中央区京橋1-6-13 アサコ京橋ビル5F

TEL: 03(3535)5566 FAX: 03(3535)5565

印刷 株式会社アポロ社

## THE SAISON FOUNDATION

Date of Establishment: July 13, 1987

Authorized by the Agency for Cultural Affairs

Funds: ¥ 6,754,915,150 (as of March 31, 1998)

## STAFF

Director:

Masao Katayama

Program:

Atsuko Hisano (Program Director)

Tatsuo Fukutomi (Program Officer)

Natsuko Inaishi (Program Officer)

Junko Okamoto (Program Assistant)

Administrative:

Takao Sakagami

## ANNUAL REPORT 1997

October 1998

THE SAISON FOUNDATION

1-6-13 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031,  
Japan

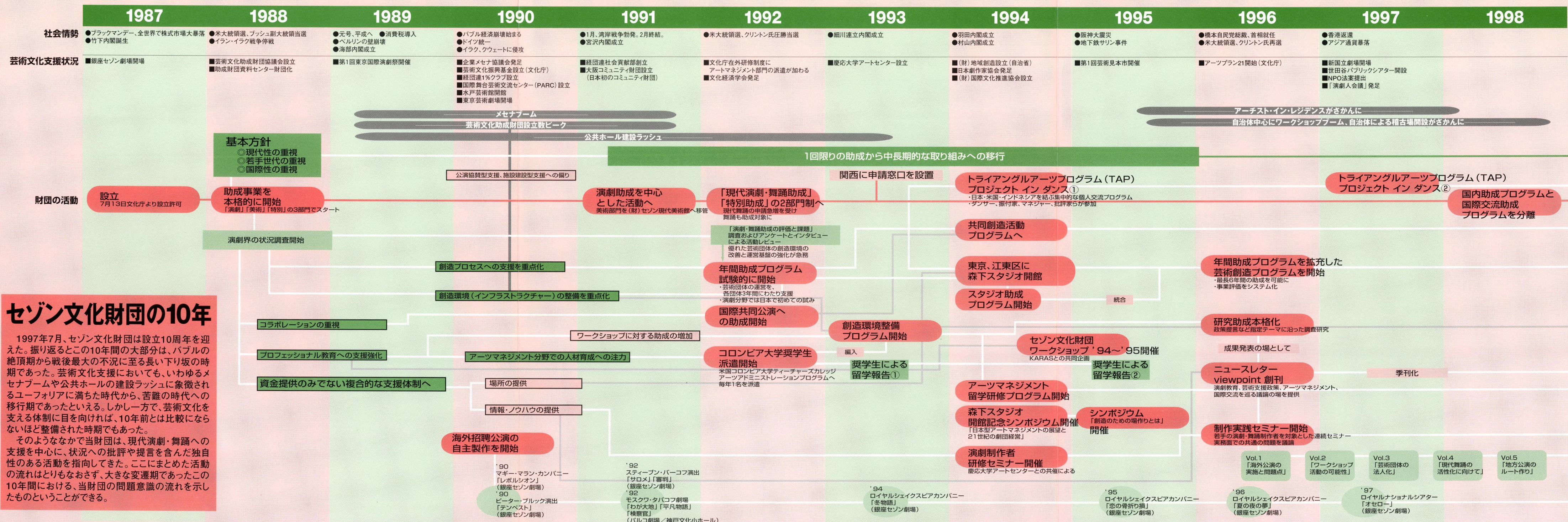
TEL: +81 3(3535)5566 FAX: +81 3(3535)5565

Printing: Apollo-sha Co., Ltd.

Cover Photo:

From the 1997 Triangle Arts Program Project in Dance in Tokyo  
photo by Koichiro Saito















財団法人セゾン文化財団

1997年度事業報告書 1997年4月—1998年3月